JVCKENWOOD

JVCケンウッドグループ

社会・環境報告書 2012

Social & Environmental Report

発行にあたって

本報告書は、JVC ケンウッドグループの社会的責任への取り組みとその成果を、ステークホルダーの皆様にわかりやすく情報開示し、理解を深めていただくためのコミュニケーションツールとして作成しています。

書体と文字の大きさに配慮し、読者にとって読みやすいように心がけました。

財務状況の詳細は、別途発行しているアニュアルレポートをご覧ください。

● ホームページでの開示

本報告書はホームページでもご覧いただけます。

http://www.jvckenwood.co.jp/csr/index.html

● 報告書の記載対象範囲

本報告書は、国内外の JVC ケンウッドグループ各社の活動を記載しています。

● 対象期間

本報告書は 2011 年 4 月～ 2012 年 3 月を対象期間として報告していますが、一部 2012 年度の内容を含みます。

● 発行

2012 年 8 月（次回発行は 2013 年 8 月を予定しています）

● 参考資料

GRI サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第 3 版

環境省　環境報告書ガイドライン（2007 年度版）

● 対象期間中に発生した組織の大幅な変更

株式会社 JVC ケンウッドは、2011 年 10 月 1 日付で、当社グループの事業会社であり、当社の子会社である日本ビクター株式会社、株式会社ケンウッドおよび J&K カーエレクトロニクス株式会社の 3 社を吸収合併しました。

目次

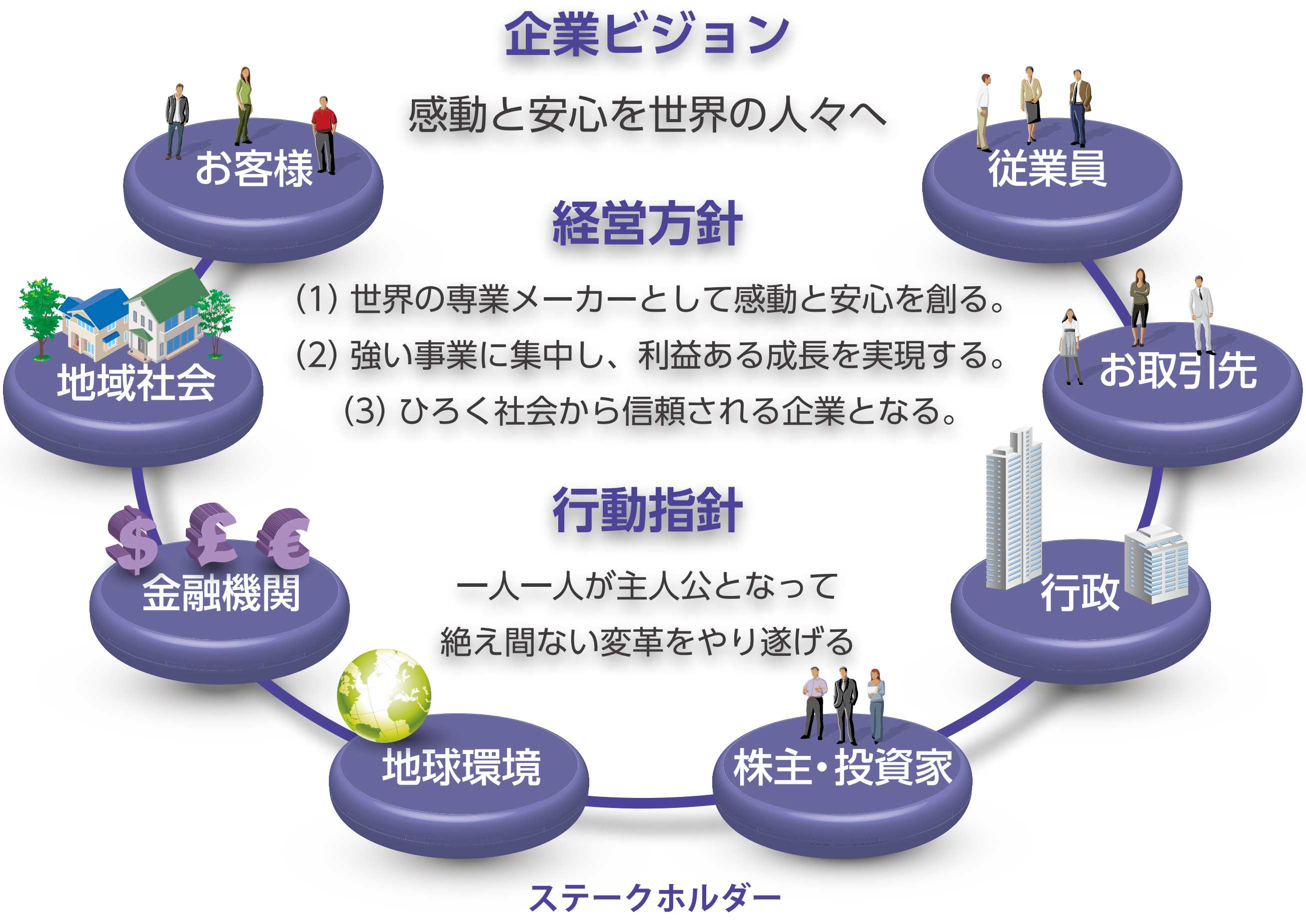
4 企業ビジョン、経営方針、行動指針
企業の社会的責任についての考え方
5 グループの概要
6 トップメッセージ
8 事業紹介

特集
10 総合エンタテインメント事業の取り組み
1. 感動をプロデュースする新たな取り組み
14 2. 感動を提供する匠の技

18 JVC ケンウッドの企業統治

20 お客様と JVC ケンウッド
24 社会・地域と JVC ケンウッド
28 お取引先と JVC ケンウッド
30 従業員と JVC ケンウッド

34 JVC ケンウッドの環境ビジョンと環境方針
36 JVC ケンウッドの環境経営
40 エコ推進計画①省エネルギーの推進
43 エコ推進計画②3R 活動
48 エコ推進計画③化学物質の適正管理
51 地球環境との対話



企業の社会的責任についての考え方

企業は、人々に有用な商品やサービスと雇用の機会を提供する一方で、社会に対して何らかの負荷をもたらす存在です。特に製造業においては生産活動に伴う廃棄物や排出物、資源やエネルギーの大量消費、人口集中など、環境問題・社会問題と深い関り を持つのが企業なのです。
しかし企業の存在抜きではこの社会そのものが存在しえません。

私たち JVC ケンウッドグループは「企業の存在そのものが社会に対して負荷を与えるものである」という認識にたって、企業ビジョンのもと、社会に対する負荷低減と社会貢献を企業活動の一環としてとらえ、「感動と安心」を提供するモノづくりを推進していきます。

JVC ケンウッドグループの社会的責任は、社会に対する負荷を低減するための4つの要素で支えています。

グループの概要

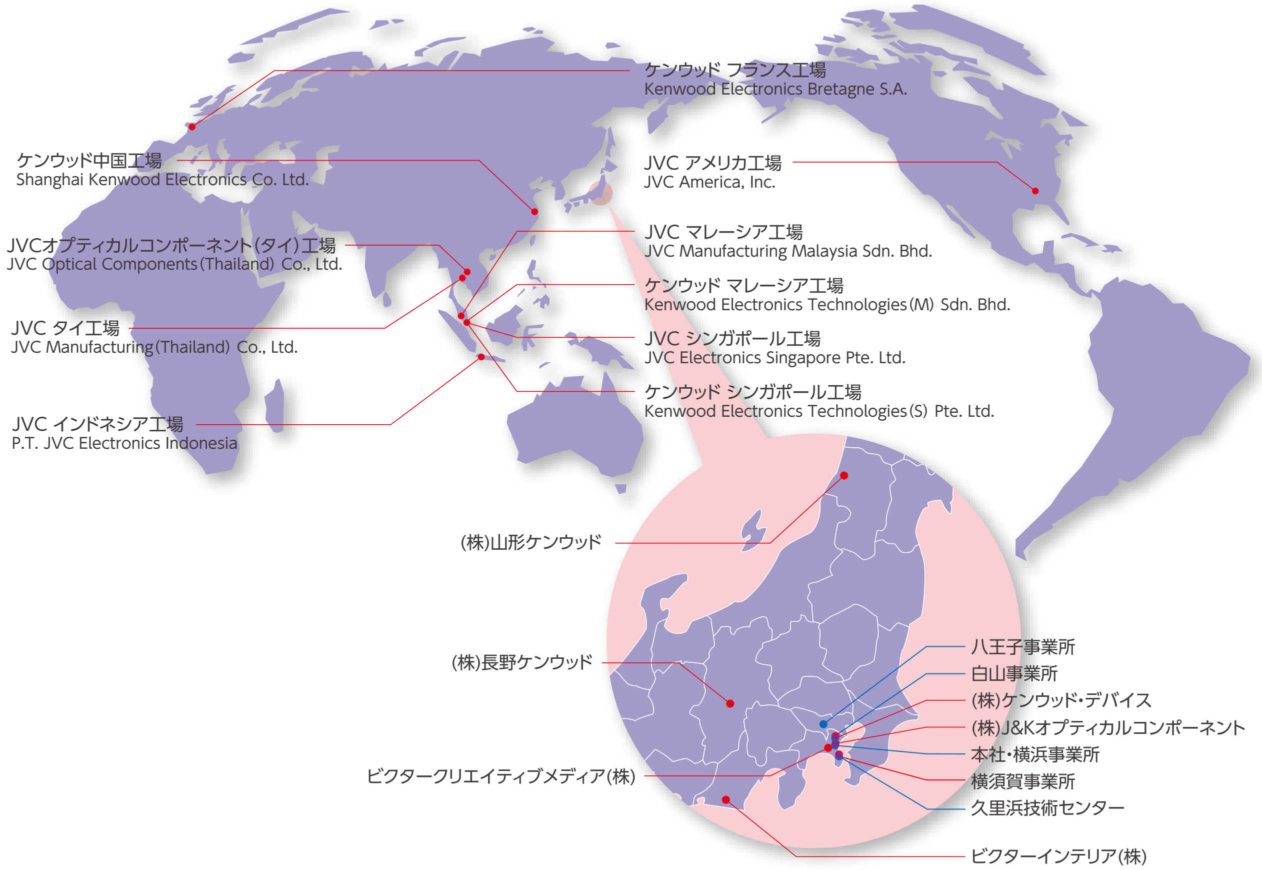
会社概要　（2012年3月末現在）

社　　名	株式会社 JVC ケンウッド	主要経営指標	
設　　立	2008年10月1日	売　上　高	320,868 百万円（連結）
資　本　金	100 億円	営業利益	12,813 百万円（連結）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地	当期純利益	6,032 百万円（連結）
連結従業員数	13,594 名		

事業内容

カーエレクトロニクス事業、業務用システム事業、ホーム&モバイルエレクトロニクス事業、エンタテインメント事業等の運営および、これら事業を営む会社の株式または持分を保有することによる、当該会社の事業活動の管理

JVC ケンウッドグループの主な拠点



JVC ケンウッドグループの詳細はホームページでご覧ください。
http://www.jvckenwood.co.jp/corporate/index.html

トップメッセージ

世界の従業員と一緒に、
感動と安心を創る世界の専業メーカーをめざします。

Now, We are the JVC KENWOOD

昨年、日本では東日本大震災という未曽有の大災害を経験しましたが、世界的にもタイの洪水、トルコの地震など大きな自然災害が発生しました。また、米国、EU の財政金融危機や空前の円高など、経済面でも世界的な転換期を迎えており、企業も大きな舵取りを強いられています。

2011 年 10 月 1 日に株式会社 JVC ケンウッドは、日本ビクター、ケンウッド、J&K カーエレクトロニクスの 3 社を吸収合併し、新たな歴史のスタートをきりました。

JVC ケンウッドは、経営方針として「世界の専業メーカーとして感動と安心を創る」「強い事業に集中し、利益ある成長を実現する」「ひろく社会から信頼される企業となる」を掲げ、私たち一人一人が主人公となってこの難局を乗り切る変革を実行し、当社を支えてくださる皆様のご期待を超える成果を出すことが責務であると考えています。

21 世紀の課題

私たち人間は技術と文明を高度に発達させ便利で快適な社会を手に入れましたが、その一方でひとつの生命体ともいえる地球環境の健全性を崩してしまいました。私たちは地球環境の多大なる恩恵を受けて生活しているという認識を持ち、エネルギーや資源の大量消費による環境負荷を低減し、美しい地球環境の健全性を維持し、次世代に引き継ぐ責任を負っています。

そのためには、人間と地球環境の関係、距離を理解していくことが 21 世紀の課題であると考えています。

株式会社 JVC ケンウッド 代表取締役社長　兼 CEO

背景は、グローバルに展開する JVC ケンウッドグループの従業員です。（合成です）

循環型社会の実現に向けて

東日本大震災後、私たちはこれまでの大量生産、大量消費のライフスタイルを今一度見直し、循環型社会に向けた取り組みを更に加速していかなければなりません。

JVC ケンウッドグループは、地球温暖化防止と資源保護のための省エネルギー活動、資源を節約するための環境配慮設計、生態系への影響を最小限にとどめるための化学物質管理を推進する「エコ推進計画2020」を実行し、循環型社会の実現に向けて貢献していきます。

また、これまで培ってきた要素技術を活かして、感動と安心を提供する商品の創出をめざし、地球環境と共生するグローバルな企業市民として社会的責任を果たしてまいります。

JVC ケンウッドグループは社会・環境活動の取り組みにあたって、皆様からのご意見にも耳を傾け、環境負荷の低減を図りながら、お客様に感動と安心をおとどけする企業をめざして参ります。

事業紹介

JVC ケンウッドグループは 4 つの事業で「感動と安心」を提供するモノづくりを推進しています。

ホーム＆モバイルエレクトロニクス事業

長年にわたり培ってきた高音質、高画質技術により大きな感動を提供する時空間を演出します。

プロジェクター

ビデオカメラ　業務用ビデオカメラの開発

ホームオーディオ

エンタテインメント事業

映像・音楽ソフトの幅広いジャンルにわたり、質の高い多くの作品を通じて夢や感動を提供し、文化に貢献します。

業務用システム事業

高い信頼性とサービスによりお客様のビジネスと安全をサポートします。

業務用デジタル無線システム
「NEXEDGE®」

業務用映像製作機器

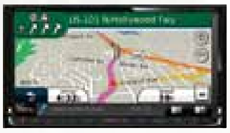
業務用 3D モニター

非常・業務用放送設備

防犯監視カメラシステム

カーエレクトロニクス事業

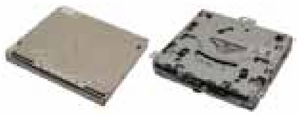
あらゆるメディアを最高の音質で楽しめる商品でカー AV 市場をリードします。



カーナビゲーション

カーオーディオ

車載用光ピックアップ



車載用光ディスクドライブメカ

特集

総合エンタテインメント事業の取り組み

株式会社 JVC ケンウッドは映像・音響機器・無線機器のメーカーであるとともに、音楽ソフトをメインとするエンタテインメント事業を併せ持つユニークな企業です。エンタテインメント事業では、感動のコンテンツを創るソフト事業として、音楽・映像パッケージから総合エンタテインメントへと事業領域をシフトし、新たな価値を創造する新時代のビジネスへと幅広く事業を展開しています。
本特集では総合エンタテインメント事業としての新たな取り組みと、伝統ある取り組みをご紹介します。

1.感動をプロデュースする新たな取り組み(ビクターエンタテインメント)

ビクターエンタテインメントが長年にわたり蓄積したノウハウやネットワークを、新たな事業領域に展開しているエンタテインメント・ラボ（以下 e-lab.）の活動をご紹介します。

エンタテインメント・ラボ（e-lab.）がお客様の企業宣伝、ブランディング、商品の販促方法をプロデュースします

レコード会社の強みを活かした e-lab. の事業活動

　e-lab. はエンタテインメント事業のマーケティングやプロモーション、音楽・映像の制作プロデュースやヒット化などの、ノウハウやネットワークを通じて感動をプロデュースする事業を展開しています。
商品の認知度や知名度を上げたい、事業を活性化させたい、そのようなとき e-lab. がお手伝いします。

ブランディング・プロモーション
Promotion Service

- アーティストを育ててきたブランディング手法や、パブリシティーネットワーク
- グループ会社内で CD・DVD・BD を生産
- 雑貨等のキャラクターグッズ、販促グッズの生産

音楽・映像コンテンツの企画・制作
Contents Produce

- 各配信サイトとの契約による、携帯・PC を通じた音楽配信・映像配信
- アーティスト・ミュージシャン・作家との太いパイプを持った、ハイクオリティなカスタムコンテンツ（楽曲・映像）の制作

スペース サウンド デザイン
Space Sound Design

- 音響設計・インフラ設備・ハード面は、JVC ケンウッドがバックアップ

広範囲な事業をお手伝いしています

　全国主要都市のプロモーターが地方のテレビ局、ラジオ局、紙媒体にむけて宣伝するネットワーク、歴史があるレコード会社として所有する数多くの音源や、アーティストとの太いパイプをさまざまなビジネスのシーンで活用できます。
　企業様が保有しているキャラクターに関しては、レコード会社の印税分配の仕組みを使い管理することができ、商品化の窓口機能も請け負っています。

ブランディング・プロモーション Promotion Service

キャラクターグッズをプロデュースした事例

　プロの家庭教師の派遣会社である株式会社ラーニングネットワークス様のキャラクター「ぱんどせる」のメジャー化をお手伝いしています。
プロモーション活動として、楽曲制作とそのキャラクターのライセンス窓口を担当させていただきました。

株式会社ラーニングネットワークス様のキャラクターを実際に商品化してプロモーション活動

動画の作成およびテレビ局等へのプロモーション、商品化の交渉、契約までレコード会社のノウハウを生かし、キャラクターのヒットを目指しています。
また、東京都目黒区の自由が丘振興会のキャラクターである「ホイップるん」にあわせて、スイーツの町自由が丘のイメージにぴったりでおしゃれなキャラクターソングを制作しました。

キャラクターのイメージにぴったりなキャラクターソングを自由が丘で披露

ブランディング・プロモーション
Promotion Service

イベントを開催してブランディングと販促活動をプロデュースした事例

宅配水大手の株式会社ナック様のボトル・ウォーター「クリクラ」のブランディングと販促活動をプロデュースしています。

「クリクラ」ブランドの露出を高めるグッズ

アスリートに飲まれているというイメージを浸透させ、「クリクラ」のブランドイメージを高めるために年間を通して、全国でのマラソン大会の協賛窓口を行っています。

給水所の水のサポートを
ウォーターサーバーで実施

マラソン大会でのパンフレット、ゼッケン、ゴールテープ等での「クリクラ」ブランドの露出に加え、給水所の水のサポートをウォーターサーバーで実施することで、日常実施しているショッピング・モール等でのサンプリング調査と同じ効果が得られ、ブランディングと販促活動を同時にサポートする施策になっています。

2011 年度協賛実績

宮城：震災復興がんばろう東北！松島マラソン
東京：青山ラブカップルラン
　　　立川・昭島マラソン
岐阜：いびがわマラソン
大阪：長居国際マラソン
広島：クリクラ尾道リレーマラソン 2012
鹿児島：いぶすき菜の花マラソン

また、ブランディングの一環として、エコプロダクツ展 2011 のクリクラブースもプロデュースし、企業価値を最大限にアピールするお手伝いもしました。

e-lab. がプロデュースした
エコプロダクツ展 2011 クリクラブース

2011 年より、ナック様のコーポレートカラーが、青と赤の水玉模様になったことを受け、そのブランドイメージを向上させるために、2011 年 12 月、渋谷 109 前にて、カルピス様とのコラボレーションイベント「クリクラ、カルピス黄金比率キャンペーン」を開催しました。

ウォーターサーバーもカルピスも夏のイメージが強いですが、一杯からでもお湯が出るウォーターサーバーの利便性を活かしたホットカルピスの試飲会は、両社のプロモーションポイントをうまく反映したイベントとして評価を頂きました。

渋谷の 109 で実施した「クリクラ、カルピス黄金比率キャンペーン」

VOICE

スポーツイベントの協賛は、ともすれば企業名を出しただけで終わってしまいます。弊社のような、これから認知度を上げていきたい会社にとっては、それでは十分な PR 効果が期待できません。

企画していただいたマラソンイベントは、ランナーが楽しめてかつ、「宅配水のクリクラ」を身近に感じてもらえる大会でした。

個人的にも「鹿児島・いぶすき菜の花マラソン」に参加し、5 位に入賞することができたことを大変喜んでいます。

（株）ナック　**栁澤 克典 様**

音楽・
映像コンテンツの
企画・制作
Contents
Produce

プロジェクト活動を楽曲制作を通じてプロデュースした事例

東日本大震災の爪あと。一瞬にして津波に飲み込まれてしまった人々。人の死は必ず、誰にでも訪れますが、家族全員、あるいは村ごと同時に人命が奪われることは、大変悼ましいことです。
2011 年 12 月、「人が生きた証を刻む」という故人の想い出を書き込む WEB 上の寄せ書きサイト「FOREVER　東日本大震災プロジェクト」が、東北大学教授の協力のもと、株式会社インストアメディア様が事務局となって運営を開始しました。
e-lab. は楽曲「FOREVER#1」の制作を通じ、このプロジェクトの大切さを歌で伝えることで、このサイトの趣旨を世間に広げていく役割を果たしています。

楽曲「FOREVER#1」は、人々の生きた証を後世に残すことがコンセプトです

スペース
サウンド デザイン
Space
Sound Design

音響技術で快適空間をプロデュースした事例

2011 年暮れにオープンしたロート製薬様の化粧品ブランド、episteme(エピステーム）の現地法人「episteme 上海」に、2012 年 2 月いち早く、e-lab が手がけるスペースサウンドデザイン・ソリューションを導入していただきました。

新天地にオープンした「episteme 上海」の店内

日本の製薬会社が仕掛ける効能を売りにした化粧品と、脳の活性化という効能のあるサウンドデザインが融合し、五感に訴えるサロンとして、好評を博しています。春以降オープン予定の北京のサロンにも順次、導入予定です。

その他、オリジナル・ハーブティー、デフューザーまで、e-lab. が提案する五感へのアプローチをすべて上海で具現化しました。

自然界の音がリラックスした空間を演出します（イメージ図）

ビクターエンタテインメントの e-lab. が提案するスペースサウンドデザイン・ソリューションは、オフィスや、商業系、医療系、教育系、美容系施設などのあらゆる空間を「音」でデザインすることにより、リラックスした空間を演出し、五感すべてのバランスを整えることができる最適空間を創造するソリューションを提供しています。

VOICE

店内を流れるスペースサウンドデザイン・ソリューションによる自然界の音は、episteme 新天地直営店での五感・聴覚に訴えるサービスの導入となりました。心地よい音で包みこまれている感覚は、生れて初めて体感した「音によるサービス」の体験でした。常に店舗におります私たちも、無駄な肩の力が抜け自然と胸を張ることができる不思議な環境に感動しております。

episteme 上海店長　**黛 恵理 様**

2. 感動を提供する匠の技

JVC ケンウッドグループのソフトエンタテインメント事業は、80 年以上に渡って音楽を通じて社会に貢献してきました。数々の演歌歌手を育ててきた株式会社テイチクエンタテインメント※に所属する音楽プロデューサーの太田 輝さんに作品が完成するまでの匠の技を解説していただきました。

※株式会社テイチクエンタテインメント
音楽、映像等企画制作販売、1934 年に蓄音器およびレコード製造販売を目的に帝國蓄音器株式会社としてスタート。1999 年に社名を現在の株式会社テイチクエンタテインメントに社名変更しました。東京都渋谷区に本社を置く日本で 4 番目に古いレコード会社です。

テイチクを代表する川中美幸さんと山本譲二さんの初のデュエット作品

作品が完成するまでを語る太田輝プロデューサー

太田 輝（おおた あきら）

岩手県遠野市出身。
1975 年（株）渡辺プロダクション入社を経て
2000 年（株）テイチクエンタテインメントに入社し、
現在に至る。

作品が完成するまで

――太田さんがご専門の演歌にはどのような特徴がありますか。

太田　演歌はアコースティック楽器によるオーケストラを使って収録します。電子楽器をなるべく使わずにアナログっぽく手づくり感が強いところが特徴です。
また、詞の情緒感を歌で相手に伝えるのが演歌です。詞が必ず先にできて後からメロディーがつくのも演歌の特徴ですね。

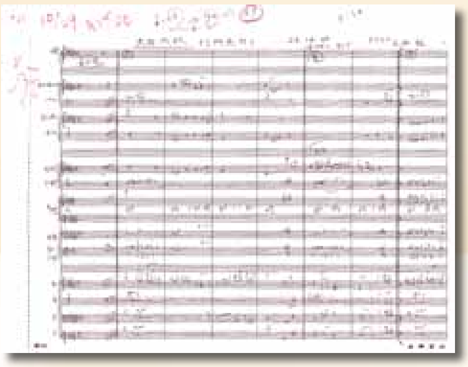
――プロデューサーの仕事について教えてください。

プロデューサーは歌い手の育成から手がけますが、歌い手の生い立ち、性格などを考慮してうまく方向性を引き出すところが腕の見せ所です。
企画立案からCDジャケットの仕上がりまでの全工程をコーディネートしています。

――作品はどのようにして出来上がるのでしょうか。

太田　企画立案→作詞・作曲→編曲・オケ録り→歌入れ→トラックダウン→マスタリング、という流れです。
順を追って説明していきましょう。

1. 企画立案～作詞・作曲

演歌は歌い手の生き様、成長度合いを見ながら新作の企画を立案します。
歌い手に合うように詞が作られ、その詞の内容にふさわしい作曲家を選びます。詞にメロディーがつき、デモテープが私のもとに届き、歌い手のキーにあわせます。

オケ録りで編曲者が使ったスコア
縦にオーケストラの全楽器の楽譜が並んでいます

2. 編曲・オケ録り

編曲者（アレンジャー）によりメロディーにアレンジが加えられます。途中にトランペットを入れてメリハリをつけたり、ギターを奏でて雰囲気を出したり、アップテンポにするなど、メロディーにアレンジが加えられ譜面が完成します。カラオケの作り方がここで決まるので重要な作業となります。
オケ録りに使われた「スコア」を特別にお見せしましょう。編曲者の気持ちがこめられているのがわかると思います。

オケ録り
音が混じらないように、楽器ごとに仕切り収録します

編曲者（アレンジャー）とオケを仕上げていきます
（左が太田さん）

3. 歌入れ

歌い手にオケが渡され、スタジオで歌入れが始まります。

歌い手の体調にもよりますが、私の場合、4，5 回歌ってもらい収録します。

4. トラックダウン

我々の業界では「落とし」と呼んでいます。

例えば「私はあなたを愛しています」というフレーズで、「私は」「あなたを」「愛しています」をそれぞれ別々のトラックから持ってきて一番いい状態にまとめることをトラックダウンといいます。

これが終わると 8 割かた終了です。

5. マスタリング

次にマスタリングの作業に入っていきます。トラックダウンで完成したオリジナルマスターから、最終的な曲の音質などの調整をします。このことは、「お化粧直し」などと言ったりもします。厚化粧にするか薄化粧にするか、私の思いを込めます。そして、曲順とそれに合った曲間を決め、CD カッティングマスターを作ります。この CD カッティングマスターから、工場にて金属原盤（スタンパー）が作られ、プレスされ、梱包された作品が全国の販売店に配送されていきます。

――まさに匠の技ですね。ひとつの楽曲を CD 化するのにはかなり手間がかかっていることがわかりました。

太田　トラックダウンは納得いくまで行いますので、深夜まで続くことが多くあります。

企画からマスタリングまで、ひとつの楽曲に平均 1 か月半から 2 か月ほどかかります。

――そういえば、演歌の CD には譜面がはいっていますね。

太田　演歌ファンはカラオケで練習するかたが多いので、CD ジャケットの中に歌詞と譜面を入れています。

この譜面はスコアから作られます。

歌入れ
詞をフレーズごとにチェックして、一番いいところをトラックダウンでつなぎ合わせます

トラックダウン
64ch ある操作卓にミキサー、その後ろに太田さん

トラックダウン終了
緊張から解放され、太田さんを中心にスタッフが楽曲の仕上がりを確認します

――太田さんはどのような時に音楽を通じて社会に貢献したと実感されますか。

太田　基本的には大衆音楽の制作ですから、作品が街角から聞こえてきたり、カラオケで歌われている姿を見たりした時にうれしくなります。

人々に娯楽を提供できているということを感じたときに社会に貢献していることを実感します。

これからも、気力、体力、集中力が持続できるかぎり、現場でヒット曲を作っていきます。

――太田さん、ありがとうございました。

太田さんの演歌への熱い思いが伝わってきました。

新作のプロモーション

テイチクエンタテインメント
宣伝本部　部長の岡崎昭人さん

岡崎 昭人（おかざき あきひと）

北海道釧路市出身。
音楽業界一筋に歩み、
1989 年（株）テイチクエンタテインメントに入社。

――新作のプロモーションについておうかがいしたいのですが。

岡崎　新作が完成すると、より多くの方々に聴いていただくためのプロモーションを開始します。

宣伝媒体は雑誌、放送局、有線放送局、新聞、音楽配信事業者などですが、音楽ジャンルやアーティストのキャラクターによって使い分けます。

アーティストガイド、ポスター、サイン入り色紙などを作成し、各宣伝媒体に配布します。

――アーティストとレーベルの関係を教えてください。

岡崎　アーティストはテイチクエンタテインメントが所有するレーベルと契約し CD の制作を行います。

例えば、川中美幸さんは TEICHIKU レーベル、秋川雅史さんはTAKUMI NOTEレーベルと契約しています。

アーティストにとってレーベルはそれぞれ音楽の方向性を指すブランドのような存在ですね。

アーティストガイド
新作の歌詞、アーティストが今までに出したシングルやアルバムの一覧 (Discography)、活動履歴 (Biography) がおさめられています。

■ テイチクレーベル

あさみちゆき、綾小路きみまろ、石川さゆり、上杉香織里、川中美幸、北山たけし、島津亜矢、清水博正、天童よしみ、前川 清、松原健之、山本譲二

■ インペリアルレーベル

岩崎宏美、関ジャニ∞、STARDUST REVUE、玉置成美、怒髪天、風男塾、BEGIN

■ TAKUMI NOTE レーベル

秋川雅史、熊谷育美、樋口了一

■ ユニオンレーベル

和田アキ子

■ コンチネンタルスターレーベル

大澤誉志幸、小比類巻かほる、原田真二、平松愛理、鈴木聖美、尾崎亜美

――岡崎さん、ありがとうございました。
普段聞くことのない業界用語が新鮮でした。

JVC ケンウッドの企業統治

社会から信頼される企業をめざします

JVC ケンウッドグループは、ステークホルダーの皆様から信頼される企業として継続的な成長を続け企業価値を高めていくことが、経営の最重要課題の一つであると考えています。そのために、コーポレート・ガバナンスの充実をはかり、透明性の高い経営を推進するとともに、内部統制システムの整備やリスク管理体制の構築に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

JVC ケンウッドは、コーポレート・ガバナンスの強化によって経営における意思決定の透明性と効率性を高め、企業価値の向上を図ることを経営上の最も重要な課題の一つととらえています。そのため、「経営と執行の分離」、「社外取締役・社外監査役の招聘」、「内部監査部門の設置によるチェック機能向上」の体制をとり、グループをあげた内部統制システムの整備を進め、コーポレート・ガバナンスの充実、強化を図ることを基本としています。

経営と執行の分離

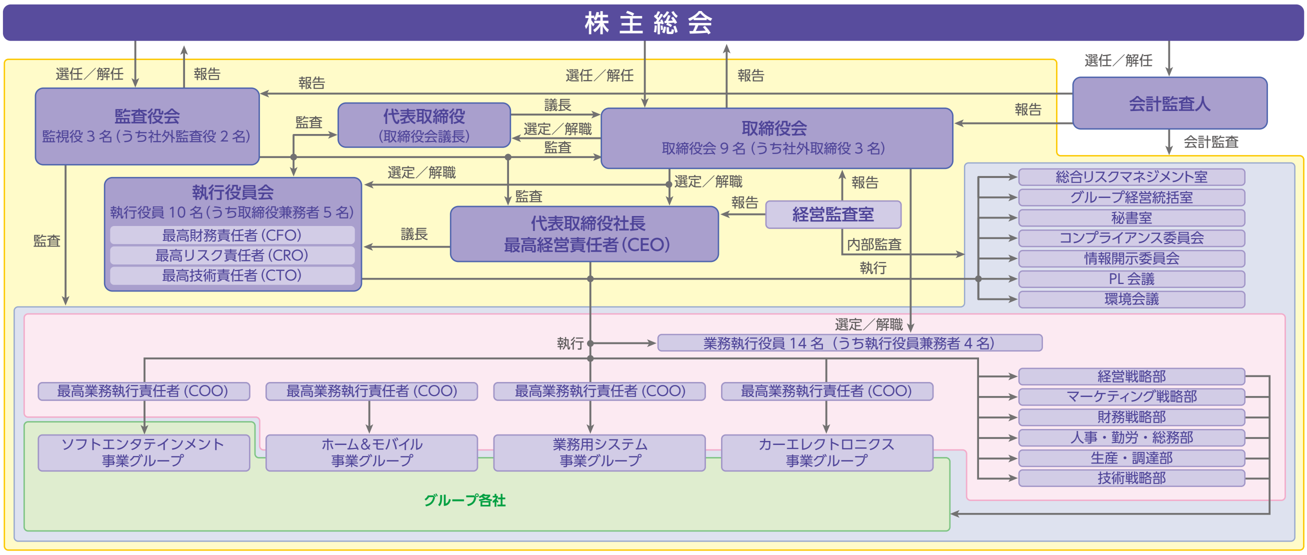
JVC ケンウッドは、執行役員制度を導入しており、業務執行機能が分化され、経営責任と業務執行責任の明確化がなされています。また、最高経営責任者 (CEO) のもとで、各事業グループや本社機能の組織の業務を担当する業務執行役員 (Operating Officer) 制度を導入し、この業務執行役員の中から、各事業グループごとに、最高業務執行責任者 COO(Chief Operating Officer) を任命し、実質的にその事業グループの運営を指揮し、成長領域での成長施策、新たな成長領域の創出と戦略施策に注力する経営体制を構築しています。

社外取締役・社外監査役の招聘

JVC ケンウッドは、原則として、経験、実績、専門的見地・見識等による経営の監督機能の実効性を確保する一方で、一般株主の利益相反のおそれのない独立性についても確保するため、主要株主や主要取引先の業務執行者等であった経歴がないことを確認するなどしたうえで、社外取締役および社外監査役候補者を決定し、招聘しています。

内部監査部門の設置によるチェック機能向上

JVC ケンウッドは、経営監査室を設置し、グループ内の関係会社まで幅広く実地調査を行い、内部統制の実施状況のモニタリングを一元的に実施することにより、事業の現場の価値観と異なる立場で問題事象の早期発見に努め、問題事象の発生に対する抑止力を高めています。



コーポレートガバナンス体制図（2012 年 6 月 26 日現在）

コンプライアンス

JVCケンウッドグループは、コンプライアンスを「法令の遵守のみならず、企業倫理や道義的責任を踏まえた社会的要請に応えること」と認識し、CEOを委員長としてコンプライアンス活動を推進しています。

コンプライアンス行動基準

2010年3月に制定された「JVCケンウッドグループ　コンプライアンス行動基準」は、冊子とイントラネット（3ヶ国語対応）を通じてグループ内の全従業員に周知され、傘下関係会社のコンプライアンス担当役員を通じて徹底されています。

ヘルプライン

グループ内で一本化された内部通報受付システム（ヘルプライン）は、通報（者）の秘密を守るため専用の通信インフラを設け、法務統括部で運営しています。そしてコンプライアンス委員会や経営監査室と連携しながら、行動基準や社会的要請を逸脱した行為の発見と是正に努めています。

コンプライアンス研修・社内トレーナー

2011年度はeラーニング等の座学に加え、CEO主導のもとグループ・ディスカッションを主体としたコンプライアンス研修が関係会社を含む13の拠点で23回開催され、幹部職1,248名が受講しました。また2011年度下期より、社内に11名のコンプライアンストレーナーを養成中であり、2012年度中には更にレベルアップしたコンプライアンス教育を実施する予定です。

リスクマネジメント

2011年は東日本大震災やタイの洪水など日本経済、企業活動に大きな影響を与える災害が発生し、企業を取り巻くリスクに対して社会的関心が高まっています。JVCケンウッドグループは、こうした社会的要請に応え、経営主導によるリスクマネジメントを推進するために、新たに最高リスク責任者CRO（Chief Risk Officer）を任命し、リスクマネジメント体制の整備を行いました。そして、CROの指揮の下でこれまでの事業継続計画BCP（Business Continuity Plan）に重点を置いた取り組みから、一歩進めて全社的なリスクマネジメント体制の構築へと、リスクへの対応を進めています。

南関東地震発生を想定し、本社地区で実施したシミュレーション訓練

JVCケンウッドグループは、直面する様々なリスクに対して、経営層が参画してPDCAのマネジメントサイクルを回すことにより、緊急事態からの復旧・復元力を強化しています。

事業継続計画　BCP（Business Continuity Plan）

JVCケンウッドグループは災害や有事に際して、第一に人命の尊重、第二に商品・サービスの供給責任を果たすことが、お客様を初めとするステークホルダーの皆様への社会的責任であると考えています。この考えの下、BCPの基本方針として「非常事態発生後の速やかな事業活動の回復により、事業の継続を通じて社会の安心・安全に貢献する」をトップダウンで決定し、社内に周知しています。具体的な活動としては、B to Bビジネスの中核事業を選定して、モデルBCPを策定しています。更にこのBCPの実効性を確実なものとするため、訓練の実施、マニュアルの見直しを継続的に進めています。

洪水によりオフィスが冠水したタイ工場

昨年のタイ洪水の際にはこれらの活動によって蓄積されたノウハウをもとに、被災したタイの工場から横須賀事業所へ迅速な代替生産を行うことができました。今後は、モデルBCPを更に発展させてグループ内に順次拡大し、グローバル企業にふさわしい事業継続マネジメント体制を構築していきます。

お客様とJVCケンウッド

お客様に感動と安心をお届けします

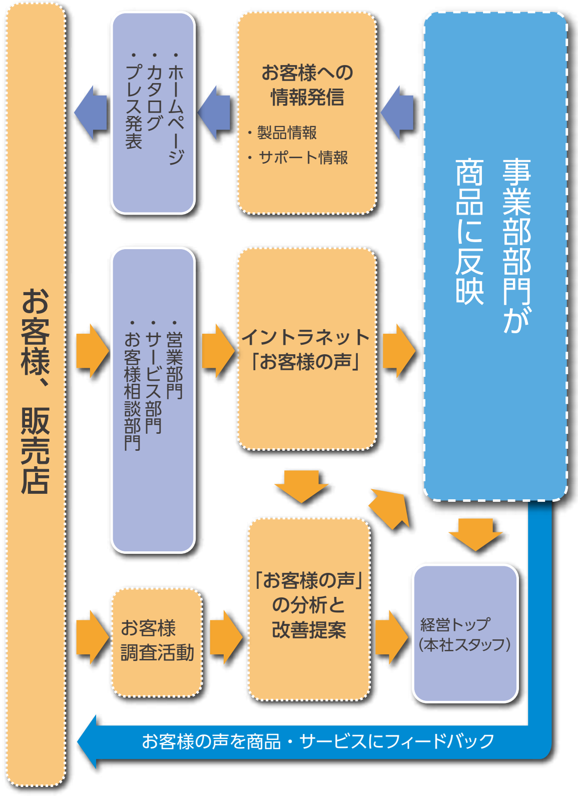
JVCケンウッドグループはステークホルダーの皆様とコミュニケーションをとりながら、お客様の声を反映させた商品で「感動と安心」を提供するモノづくりを推進しています。

◀ 2011年10月リニューアルオープンした丸の内ショールーム

お客様との関わり

お客様の声を商品、サービスに反映

カスタマーサポートやサービス部門に日々寄せられるお客様の声や登録ユーザーからのご意見・ご感想を、毎日、整理・分類し、社内システム**「お客様の声」**で事業部門、および社内関連部門へフィードバックしています。これにより、お客様の声にもとづく商品・サービスの改善を促進するとともに、お客様への製品情報やサポート情報の提供の充実を図っています。



お客様に安心して使用していただくために

JVCケンウッドグループは、「安全・安心」をお届けするために、「製品安全に関する基本方針」を定め、ホームページに掲載して社会へ公表しています。
これを実践するために、組織体制や諸施策を「製品安全自主行動計画」として作成し、継続的な取り組みと改善を行っています。

また、不慮の製品事故に関し、直ちに事実確認と原因究明を行い、安全上の問題があるまたはその恐れがあることが判明したときは、製品の回収その他の危害の発生・拡大の防止措置を講じ、適切な情報提供の手段を用いて迅速にお客様や関係者へ開示できるよう取り組んでおります。

「製品安全に関する基本方針」はホームページでご覧ください。
http://www.jvckenwood.co.jp/safety/index.html

製品安全に関する取り組み

「製品を安全にお使いいただくための正しい使い方」をホームページに掲載し、お客様が安全に安心して使って頂けるよう、製品ごとに、日常点検をお奨めする項目と安全にお使いいただくためのポイントを分りやすく説明しています。

KENWOODブランド商品：
http://www2.jvckenwood.com/cs/safety/index.html

JVCブランド商品：
http://www3.jvckenwood.com/support/info/safety/index.html

お客様が安心して使用できるように配慮した商品事例

マナーモード搭載ビデオカメラ

お客様から、「発表会などの暗い場所や静かな場面の撮影時に液晶モニターの明るさや、操作音が気になる」という声に応え、2012 年モデルから新たに「マナーモード」を設けました。簡単な操作で液晶モニターの明るさを抑え、操作音の消音ができ、周りが気になる場所での撮影時にも安心です。

ビデオカメラ用バッテリーの安全配慮

バッテリーをバックなどに入れて金属物（ネックレス、ヘアピンなど）といっしょに携帯する際のショート事故を防止するために、金属物があたってもショートしにくい端子形状にしました。

ショートしにくい端子形状

カーナビゲーション①
電動パネルのはさみこみ防止機能

万が一、パネルの開閉中に指などをはさんでしまった場合、モーターを反転させるソフトウェアとクラッチ機構の両面で電動パネルの制御を行い、はさみこみを防止しています。

カーナビゲーション②
パネルの角度調整機構

カーナビゲーションの取り付け位置によって画面の角度が上向きになり、太陽光の反射で画面が見にくい場合があります。多くの車種に対応できるように、角度調整機構で見やすい角度に調整できます。

反対側に角度調整できることが特徴です

カーナビゲーション③
地図データーの更新

愛車を永く大切に乗るお客様が増えています。装着したカーナビゲーションも常に新しい地図で快適に使っていただくために、加入すれば（315 円 / 月）5 年間地図更新が実質無料となるサービス「KENWOOD MapFan Club」を展開しています。

MDV-737DT

KENWOOD MapFan Club

最長 5 年間最新の地図に更新できます

堅牢設計の業務用無線機

業務用無線機を使用するお客様の用途・使用環境は多様であるため、高い品質と堅牢性・耐久性・安全性が要求されます。無線機の仕様やフォルムはお客様からのご要望や実際にご使用していただいている現場からの意見が反映されており、長期間にわたり安心してご使用していただける商品を提供しています。その結果、アメリカ国防総省の米軍用規格 MIL-STD-810 C/D/E/F/G に適合した性能となっています。

手袋をしたままでも操作できるように配慮されています

要素技術を活かした新事業への取り組み

JVC ケンウッドグループでは、これまでに培った要素技術をベースに、「感動と安心」の幅広い事業分野で新しい価値をお客様に提供していきます

デジタル無線機用ノイズキャンセルスピーカマイク　KMC-51/52

音響技術をデジタル無線機の分野に応用し、安全･安心を提供しています。

高度な信号分析により大きな騒音の中でも話し声がはっきりと聞こえるデジタル無線機用ノイズキャンセルスピーカマイクを開発、商品化しました。

KMC-51/52

サイレンなど音声信号との分離が困難であった雑音も大幅に低減し、明瞭な音声通信が可能となり、消防や警察、ジェットエンジンの高騒音下の空港などで活用が期待されています。

ノイズキャンセル前　ノイズキャンセル後

ノイズがキャンセルされ、クリアーな通話が可能になります

200 インチの自然な裸眼立体表示

独立行政法人情報通信研究機構様と共同で、200 インチの自然な裸眼立体表示技術を開発しました。
特殊な眼鏡なしに自然な立体像を表示でき、等身大の人物や実寸大の車などの大きな立体物を多人数で見ることが可能となり、迫力ある大画面ハイビジョン立体映像を実現しました。
本技術は、車体などの工業デザイン、パブリックビューイング、電子広告や教育、医用分野での活用が期待されています。なお、この開発には JVC ケンウッドの光学技術、材料・デバイス技術、映像技術が使われています。

立体映像を実物大でリアルに再現します（画面は合成です）

次世代車載用ディスプレイ「ヘッドアップディスプレイ」

光学技術、材料・デバイス技術、映像技術を結集した次世代車載用ディスプレイ「ヘッドアップディスプレイ」を開発し、2012 年 1 月にアメリカ・ラスベガスで開催された、世界最大級のエレクトロニクス・ショー「2012 International CES」へ参考出品しました。
フロントガラス前方の空間に高精細な映像を投影し、車の前方の風景にナビゲーション、速度、アラートなどさまざまな情報を重ねて表示することができます。これにより、運転者は大きく視線を動かすことなく、安全に必要な情報が得られます。

運転者は大きく視線を動かすことなく、安全に必要な情報が得られます（画面は合成です）

VOICE

走行中のドライバーは前方や周囲に注意をはらいながら、スピードメーターやカーナビゲーションの経路誘導の確認、GSM やオーディオ機器の操作など、いろいろな動作を強いられています。欧州は大陸を横断する高速道路が発達しており巡航速度も高速なため、一瞬の視線移動が命取りになる可能性があります。
私は欧州販売統括会社の商品責任者として、ヘッドアップディスプレイで安全運転に集中でき、楽しい車内空間が演出できるように、商品企画部や技術部門と一緒になって商品の完成度を高めていきたいと思います。

Kenwood Electronics Europe B.V. / Kenwood European Headquarters
Product Manager Automotive

Ton van Bodegraven

社会・地域と JVC ケンウッド

地域に根差した社会貢献活動に取り組みます

JVC ケンウッドグループは地域との連携・交流を深め、地域社会に根差したさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

◀「塩釜市浦戸諸島 復興・支援活動」に参加した山形ケンウッドの従業員

日本では

東日本大震災復興支援事業に参加（山形ケンウッド）

2011 年 9 月 23 日、山形ケンウッドの従業員が山形県環境保全協議会主催の「塩釜市浦戸諸島 復興・支援活動」に参加しました。

東日本大震災により地盤沈下し、その後の台風で床下浸水の被害が発生した宮城県塩釜港近郊の家屋から、汚泥の搬出作業、家財の移動などをお手伝いしました。この様子は地元のメディアなどでも何度か取り上げられ、主催者からは感謝状をいただきました。これからも出来る範囲で地域貢献活動に継続して取り組んで行きたいと考えています。

床下浸水の被害を受けた家屋の土砂の除去、家財の移動をお手伝いしました

限られた時間と人員で効率よく作業を進めるためには、特定小電力無線機の必要性を痛感しました。

山形ケンウッド
第一技術部 技術支援 G
日向　修一

山形県環境保全協議会からの感謝状

2011 年 11 月、宮城県七ヶ浜町に 0 泊 2 日でバス会社企画の復興支援ツアーに参加しました。

いつかまた七ヶ浜町を訪れて、復興した町並みを自分の目で確かめ、おすすめスポットを観光したいと思っています。

マーケティング戦略部 国内マーケティング統括部　日野 久男

出前教室（本社・横浜事業所）

本社・横浜事業所は、横浜市の環境創造局と協働し、「こどもたちの学力向上を支援し、社会の発展に貢献する」をコンセプトに、音響と映像の専門メーカーならではの教材を用いて小中学生に出前教室を実施しています。山形ケンウッドでも庄内総合支庁と協働し、（財）省エネルギーセンターからの依頼も含めて出前教室を実施しています。

神奈川県横浜市での出前教室

中学生の「職場体験学習」を受入（八王子事業所）

八王子事業所は、神奈川県立相模原中等教育学校の5名の生徒を職場体験として受け入れました。生徒の方々には、3D CADで作図、車載機器の動作チェック、スピーカーの製作など、モノづくりを体験していただきました。

スピーカーの製作

タイ洪水の復興支援に無線機器を寄贈

JVCケンウッドグループは、2011年10月初めよりタイで発生した洪水による被災者の救済、被災地の復興に役立てていただくため、公共インフラに頼らずに交信が可能な無線機を200台寄贈したほか、グループ従業員、労働組合、会社のマッチングギフト方式による義援金280万円を寄付しました。

245MHz 無線機
ケンウッド TK-2310R

小学校での映像教育を支援（本社・横浜事業所）

本社・横浜事業所は2011年9月、市内の小学校において、映像作品の制作を通じた人材育成に取り組んでいる川崎市にビデオカメラ8台を貸し出し、こどもたちの創作力の育成を支援しました。

自分たちの思いを映像に託し作品を制作中
（川崎市立京町小学校にて）

インターンシップの受け入れ（ケンウッドデザイン）

ケンウッドデザインは、国内外の大学からインターンシップの受け入れを行っています。これまで培ってきた技術や人材のキャリアを活用し、デザインの社会的役割、PDCAサイクルを基本とした商品化プロセスなどを学んでいただける場を提供しています。

プロのデザイナーから指導を受ける
インターンシップ生（左）

地域のクリーン活動に参加

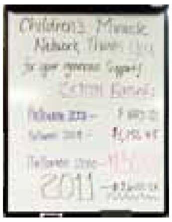
JVCケンウッドグループは、それぞれの地域にあわせたボランティア活動に参加しています。最寄駅から事業所までの通勤路や地域集辺道路でタバコの吸殻や植え込みの中に隠れた空き缶などのごみ拾いを行うなど、地域の環境美化活動にも参加しています。

新子安駅付近のクリーン活動

海外では

ハロウィンパーティーを通じて寄付金集め

JVC ケンウッドのグループ会社である Zetron は毎年小児病院のための基金「チルドレンズ・ミラクル・ネットワーク」を支援しています。今年もハロウィンパーティーを通じて集まった資金 $1,625.58 を寄付しました。



「Spark of Love Toy Drive」に参加

2011 年 12 月、ケンウッドと JVC のアメリカ販売会社はロサンゼルスの消防署がおもちゃの寄付を募る「Spark of Love Toy Drive」の活動に参加し、カリフォルニア州の恵まれないこどもたちのために、おもちゃの寄付をしました。

おもちゃの詰まった箱を回収に来た消防士

電子商取引を通じたチャリティー活動

ケンウッドイタリア販売会社は 2009 年より自社電子商取引ウェブサイト www.kenwoodstore.it の運用を開始し、売り上げの 0.8% を 3 つのチャリティーへ寄付しています。

寄付先を紹介するイタリアの
Kenwood store WEB サイト

①動物アジア財団
②アフリカでの児童救済団体「Terre des Hommes」（テールデゾム）
③イタリア対がん協会

チャリティー番組の運営をサポート

ケンウッドスペイン販売会社は、1996 年から毎年バルセロナのテレビ局「TV3」で放送されているチャリティー番組「Fundació La Marató de TV3」のスタッフの連絡用に無線機を貸与し番組の運営をサポートしました。今回は 15 時間に渡る放送の中で 40 台の無線機を貸し出しました。

募金受付会場となった
Barcelona Trade Fair Show Center

奨学金とプレゼントを寄贈

JVC オプティカルコンポーネント（タイ）工場は 1 月 14 日のこどもの日の前日に、ナコンラシャシマ州の盲学校と、仏教寺が開校している児童福祉施設へ奨学金とプレゼントを寄贈しました。

奨学金とプレゼントを受け取ったこどもたち

小学生の教育を支援

ケンウッド UK 販売会社は、途上国の地域開発を進める国際 NGO 団体を通じてセネガルの 10 歳の少女の教育支援を行っています。
その結果、毎日約 30 分かけて大好きな小学校へ通うことができています。ちなみに彼女の得意な科目は算数です。

ケンウッド UK が教育を
支援しているセネガルの少女

少年サッカー大会の運営をサポート

2011年5月で6回目となるケンウッドグループユニオン(KEGU)が毎年主催しているジョホール地区少年サッカー大会「KEGU FRIENDSHIP CUP」は、州内で選ばれた中学生サッカーチームが16チーム参加しました。
ケンウッドマレーシア工場の従業員と日本からの組合員ボランティアスタッフが、マレーシア青年スポーツ省と協力し、こどもたちの心と身体の健全な育成を願い開催されました。

優勝チームとの記念撮影

ビーチバレー大会のスポンサーシップ

ケンウッドイタリア販売会社は、イタリアンビーチバレーボールチャンピオンシップを継続支援しています。
2011年は6月から8月の期間で国内の9地域で開催しました。

大観衆の中でのビーチバレー

社会奉仕活動を行うコミュニティ・サービス・デイ

2011年12月16日、ケンウッドシンガポール工場は毎年実施しているコミュニティー・サービス・デイとしてイーストーコーストパークの海岸と公園の清掃を実施し、環境美化に貢献ました。参加した従業員は「清潔な環境を維持することの大切さ」を実感しました。
今後も継続的に社会貢献活動を行っていきます。

9グループに分かれて清掃を行いました

献血活動への協力

2012年3月20日、JVCインドネシア工場は洪水・地震・竜巻などの災害が起きた場合の被災地支援の一環として、162名の従業員が西ジャワ州のインドネシア赤十字社への献血を行いました。

献血をするJVCインドネシア工場の従業員

クリケットトーナメントを開催

2011年12月、ケンウッドガルフ販売会社はUAEで大変ポピュラーなスポーツとなっているクリケットトーナメントを開催しました。2年毎に代理店と共同開催しています。

開催にあたって説明を受ける参加者

小学校の「サイエンスフェアー」に参加

JVCアメリカ工場は近隣のアルカディア小学校で毎年開催される「サイエンスフェアー」の審査員を15年間続けています。
2012年2月7日、6名の従業員が幼稚園から5年生までの研究発表を創造性・独創性・科学理解力をポイントに審査しました。

研究発表を審査する
JVCアメリカ工場の従業員

お取引先と JVC ケンウッド

お取引先との パートナーシップを構築します

JVC ケンウッドグループは、部品調達のパートナーや販売のパートナーとともに、法令・社会規範の遵守のもとで、公平・公正にかつグローバルな視点で、相互信頼と透明性のある共存・共栄の関係構築に努めています。

◀ グリーン調達監査の様子

部品調達のパートナーとともに

お取引先とのパートナーシップ

お取引先との双方向のパートナーシップを築いていくことを基本ポリシーとして、お取引先と一体となった商品開発を強力に推進しています。お取引先から様々な提案をいただくなど、ともに Win-Win の関係を維持することを目指し、品質、環境、納期、価格に関する調達改革を推進しています。また JVC ケンウッドグループの開発ロードマップをもとに、お取引先の部品開発との整合をとりながら、商品開発に取り組んでいます。

お取引先との商品開発に向けて

環境への取り組み

あらゆる企業活動における環境配慮と、生産販売する商品のライフサイクルにおける環境負荷低減に継続的に取り組んでいます。その一つの手段として環境への負荷の少ない部材や製品を優先的に購入することが重要であると考えています。

特に、昨今の REACH※を はじめとした国際的な化学物質管理の潮流に対応するため、「グリーン調達ガイドライン」にもとづいた、資材調達材の化学物質成分調査、および、グリーン調達評価を行っています。グリーン調達評価は、お取引先ご自身にて製品含有化学物質管理体制を構築・維持および継続的な改善に繋げていただくことを目的に、化学物質管理体制とその取り組み状況を自己評価していただくものです。その結果に応じ、グリーン調達監査を行い、お取引先の環境管理体制の確立、環境負荷低減部材に向けた体制構築に繋げています。

グリーン調達ガイドライン

※ REACH 規則 : Registration Evaluation Authorization and Restriction of Chemicals
EC 規則 No.1907/2007 で定められた欧州における化学物質管理のための法律

グリーン調達ガイドラインはホームページでご覧ください。
http://www.jvckenwood.co.jp/csr/green/index.html

当社は ISO14001 認証後、地球環境に配慮した企業展開を健全な状態で次世代に引き継ぐ事が我々の責務と捉えた活動をしています。
御社とのお付き合いにより、環境に対する意識を更に高めることができ感謝しております。
今後も「お客様に満足していただける部品とサービスを提供する」をモットーに頑張ります。

株式会社青野工業 営業部　**青木 信二 様**

販売のパートナーとともに

JVC ケンウッドグループでは、世界各国の多くのお客様に魅力的な商品をお届けするために、代理店様、販売店様など販売パートナーとの連携強化に努めています。

各地域での商品勉強会

JVC ケンウッドグループでは、新商品が発売になる毎に新商品の説明や意見交換を行うために、世界各地で販売パートナーを招いて地域に合わせた勉強会を実施しています。
販売が好調なインドでは、会場の舞台中央に置かれた金色のキャンドルスタンドに献火して、すべてに幸せがくるようにという「幸運の儀式」で勉強会がスタートします。
勉強会の後には、親睦会を通じて新製品に関する意見交換を行い、コミュニケーションの促進に取り組んでいます。

商品勉強会（インド）
金色のキャンドルスタンドに献火する「幸運の儀式」でスタートします

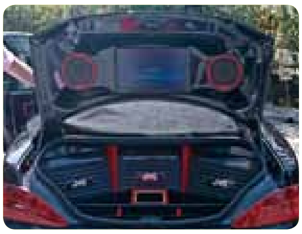
真剣に商品説明を聞くインド代理店傘下の販売店の皆さん

商品勉強会（スーダン）

商品勉強会（トルコ）

デモカーで販売促進活動

各国ではデモカーを作成して、新商品の魅力や特徴を体感していただくために、各種イベントや雑誌の取材などに積極的に参加しています。
日本でも数台のデモカーを全国の販売店様に持ち込み販売促進につなげています。



トルコ

イラン

パナマ

日本

私はインドでケンウッドカーオーディオの代理店を営んでいます。
19 年以上の長いお付き合いをしていますが、ケンウッドとは関係をさらに強化し、ケンウッドブランドのマーケットシェアを高めていきたいと思っています。

Nippon Audiotronix Ltd 社長　KS Goindi

従業員と JVC ケンウッド

安全で働きやすい職場環境をめざします

JVC ケンウッドグループは、従業員一人一人の成長をサポートする教育・研修体系の整備に努めるとともに、安全で働きやすい職場環境の整備に努めています。

◀ 2011 年 12 月 4 日に JVC タイ工場の代替生産を立ち上げるため来日した JVC タイ工場スタッフ

従業員とともに

タイ工場従業員が来日して代替生産の技術指導

大洪水で浸水被害を受けた JVC タイ工場の代替生産のため、2011 年 12 月 5 日から 2012 年 3 月末までにタイ工場から生産ライン、品質保証、出荷検査のスペシャリスト合計 68 名が横須賀事業所に入り、業務用機器の製造作業に従事しました。受入側の横須賀事業所では、慣れない日本の冬対策に社内で防寒具の無償提供を募ったり、言葉や食事の問題などを全面的にサポートしました。

日本人従業員に作業指導するタイ工場従業員（左）

従業員家族パーティーの実施

海外の工場や販売会社では、従業員の日頃のストレスや疲れを癒すために、毎年家族と一緒にパーティーを実施しています。ビアパーティー、バーベキュー、運動会、旅行など毎年工夫を凝らしたイベントに家族も楽しみにしています。

従業員家族パーティー　JVC シンガポール販売会社

ケンウッド GULF 販売会社

JVC ケンウッドとして合併記念式典を開催

2011 年 10 月 1 日に株式会社 JVC ケンウッドが、日本ビクター、ケンウッド、J&K カーエレクトロニクスの 3 社を吸収合併しました。新たな歴史のスタートにあたり、10 月 3 日、パシフィコ横浜国立大ホール（神奈川県横浜市）で合併記念式典「新・創業イベント ～ Now, We are the JVC KENWOOD ～」が開催されました。

当日は JVC ケンウッドグループ国内の従業員および海外拠点の代表者など約 4,200 名が出席し、一つの会社として今後の成長を誓い合いました。

パシフィコ横浜国立大ホールで行われた合併記念式典

また、2011 年 10 月から 11 月にかけて、各事業所で家族参加型の合併祝賀イベントも開催しました。

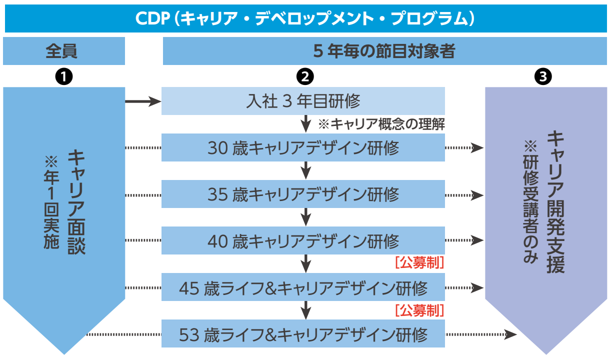
能力・キャリア開発を支援する取り組み

自らの役割遂行に必要な能力を高める研修や、組織の中で自らの能力を発揮するための研修を体系化して実施しています。
また、自らの経歴や経験をもとに描いた「将来のありたい姿」を実現するための行動を支援する、キャリア・デベロップメント・プログラムを実施しています。キャリア・デベロップメント・プログラムは、以下の3本の柱で構成しています。

①キャリア面談

②キャリアデザイン研修

③キャリア開発支援



キャリア面談

3本の柱の中で最も基本となる「キャリア面談」は、年1回本人と上司がキャリアビジョン（将来のありたい姿）やキャリア開発テーマについて話し合い、個人の動機と会社の期待を「すり合わせ」するものです。

キャリアデザイン研修

自らのキャリアビジョンを描き、実現のために必要な行動を考える機会としてキャリアデザイン研修を実施しています。キャリアデザイン研修は、現在までの働き方を振り返りながら将来のありたい姿を考えることで、多くの気づきが得られる研修です。また、参加者同士がキャリアビジョンを話し合う中で、「将来の目標に向けた自己啓発」、「家庭生活や地域とのつながり」といった、ワークとライフのバランスを総合的に考える機会となっています。

キャリアデザイン研修

キャリア開発支援制度

キャリアデザイン研修終了後には、学んだ内容や気づきを活かしさらなるチャレンジができるよう、時間とお金を含めた支援を行う、キャリア開発支援制度を導入しています。この制度は、通信教育の受講、社外セミナーへの参加、資格取得などキャリアビジョン実現のためのさまざまな目的に利用されており、自己啓発はもちろんのこと、社内活性化にも効果を上げています。

仕事と家庭生活の調和を支援する取り組み

JVC ケンウッドは、従業員一人一人のライフスタイルが今後ますます多様化することを踏まえて、仕事と家庭生活の調和 (WLB；ワーク・ライフ・バランス) を支援する様々な取り組みを行っています。

育児・介護支援

育児や介護という、従業員の生活面のイベントと仕事の両立をサポートするために、さまざまな制度を設けています。

育児休業制度	こどもが 1 歳の誕生日を迎えた後の 4 月末または 1 歳 6 ヶ月到達月の月末まで休業が可能
育児短時間勤務	こどもが 9 歳に到達後の 3 月末までの期間、法定育児時間とは別に 1 日 2 時間まで勤務時間を短縮可能
配偶者出産時の休暇	配偶者の出産時に 3 日間の休暇を取得可能
こどもの看護休暇	9 歳に到達後の 3 月末までのこどもの看護のために年 5 日の休暇が取得可能
介護休業制度	介護を要する家族 1 人につき、通算して 1 年間を上限として休業が可能
介護短時間勤務	介護休業と合わせて通算 1 年間の範囲で 1 日 2 時間まで勤務時間を短縮可能
介護休暇	介護を要する家族の世話のために、年 5日の休暇が取得可能
時間外労働 深夜労働の制限	9 歳に到達後の 3 月末までのこどもを養育する従業員および要介護状態にある家族を介護する従業員が請求した場合に、時間外労働は月24時間、年間150時間を上限とし、深夜労働はさせない
退職者再雇用 登録制度	妊娠・出産・育児・介護・配偶者の転勤を理由に退職した従業員が退職時に登録することで再就職が可能

時間外労働の削減

育児や介護など特定のライフイベントだけでなく、日常的な家庭生活の充実のため、時間外労働の削減に取り組んでいます。

具体的には、事業所ごとに定時退社日を設けて終業後に全館放送を行って帰宅を促したり、時間外労働に対する意識を高めるために労働組合との時間外労働に関する協定についての研修を実施したりして、従業員一人一人が自主的に時間を意識して働くことを目指した活動を展開しています。

年休取得促進活動

時間外労働の削減に加えて、年次有給休暇の取得促進にも取り組んでいます。年休取得促進は労働組合と共同で取り組むテーマとしており、取得推奨月間と取得目標日数を定めて各職場に展開するなどの取り組みを進めています。今後は職場ごとの実態調査なども実施して、従業員一人一人がきちんと休暇を取得できるようフォローしていきます。

その他制度

これらの制度や活動の他にも、仕事と家庭生活の調和や充実のため、既に導入していた出産・育児・介護による退職者の再雇用制度の適用事由に「配偶者の転勤」を加え、より家庭生活に配慮できるように「退職者再雇用登録制度」としてリニューアルしました。

VOICE

2012 年 5 月、二人目のこどもの育児休暇を終え復職しました。
乳児期のこどもの成長は本当にいちじるしく、毎日が驚きと感動の連続で、有意義な時間を過ごしています。
上司や周囲の子育てに対する理解が深く、子育てしながら働きやすい職場環境・制度にはとても助かっています。

技術戦略部 企画室　**大木 淑絵**

安全・健康への取り組み

休職者の復職へ向けた支援

メンタルヘルスケア対策として、職場における未然防止の取り組みと、私たち全員がメンタルヘルスに対する正しい知識と認識を持ち、仲間に対する気遣いができるよう、継続的にメンタルヘルス研修会を開催しています。

メンタルヘルス研修

また、長期休職からの復帰にあたり、無理なく業務に復帰できるよう、「職場復帰支援制度」を設けています。

この制度は、長期欠勤や休職により会社を休んでいた状態から通常勤務に向けて、段階的に勤務時間や業務負荷を増やしていく「試行勤務」を行うもので、原則として3ヶ月間のプログラムとしています。

試行勤務期間中は、産業医や医療スタッフも支援に加わり、復帰を支援します。
試行勤務を終了し本格復帰する段階では、産業医・医療スタッフ・職場上長などの関係者による「復職判定会議」を開催し、関係者全員で復帰にあたっての配慮の内容や支援体制について確認します。

長時間労働対策

長時間労働はやがて過重労働となり、健康障害やひいては過労死にもつながりかねない重要な社会問題となっています。

長時間労働者に対しては、産業医による面接指導や問診などを課し、時間外労働の削減と合わせて健康障害防止に努めています。

長時間労働者と産業医との面談

また、定時退社日を設けたり、安全衛生委員会でも長時間労働の削減に取り組んだりと、積極的な取り組みを行っています。

労働安全衛生

JVCケンウッドグループは、「安全衛生文化の創造」に向け、「労働災害ゼロ」「労働者の健康確保」を基本的な考え方として、毎月開催される安全衛生委員会を中心に活動を推進しています。

従業員の安全と健康を最優先する企業風土の定着を目指し、安全面では「災害ゼロから危険ゼロへ」の精神のもと、災害の芽をいち早く見つけて摘み取るツールとしてのリスクアセスメントを導入し、現場のみならず事務所までの災害防止に努めています。また衛生面においてはメンタルヘルス対策をはじめ、働く人の健康づくりを支援、快適職場づくりに取り組んでいます。

安全衛生委員会

「仕事」のために何かを犠牲にしていませんか？自分の趣味、家族との交流、友人との付き合い等々。「仕事」は人生を豊かなものにする大きな要素ですが、場合によっては逆もありえます。「仕事」によって自分をコントロールされるのではなく、自分がコントロールすることにより、ワーク・ライフ・バランスを保つことができるのではないでしょうか。このように少し視点を変えてみると、人生はより豊かなものになっていくと思います。

産業医　**海老原 良典**

JVC ケンウッドの環境ビジョンと環境方針

事業活動を通じて美しい地球環境を保全します

**私たちの暮らす地球は「地球温暖化」、「有害物質による汚染」、「生物多様性の損失」、「資源枯渇」などの問題に直面しており、世界各国・各地域で解決の動きが活発に行われています。
このような世界的な大きな動きに適切に対応するために、JVC ケンウッドグループでは「環境ビジョン・方針」のもとで「エコ推進計画 2020」を策定し「省エネルギー推進・3R 活動・化学物質の適正管理」を活動項目として、美しい地球環境を次世代に引き継ぐために地球規模での環境保全に貢献するよう努めています。**

環境ビジョン

私たちは、環境負荷低減を常に意識した行動に取り組むエコ推進企業として社会に貢献して行きます。

環境方針

すべての事業活動、製品開発およびサービスにおいて、環境に与える影響を十分に認識し継続的に改善することにより、地球環境と資源の保全、汚染予防を図り、環境に配慮した企業経営に取り組みます。

1. 地球温暖化防止のために、環境負荷を低減する技術や商品の開発に取り組み、事業活動を含めたライフサイクル視点での CO_2 排出量の削減を進めます。

2. 限りある地球資源の有効活用のため、3R 活動を中心とした資源の使用削減やエコ素材の積極採用などにより、循環型社会の実現を目指します。

3. 地球の環境と生物に影響を与える化学物質を管理し、継続的な削減と安全物質への代替に努めます。

4. すべての事業活動、製品開発およびサービスが生物多様性に影響するという認識に立ち、総合的な環境負荷の低減に努め、自然環境との調和を目指します。

5. 環境側面に適用する法規制およびその他の同意した要求事項を順守します。

6. 環境保全の啓発として従業員に対して環境教育を行います。

エコ推進計画 2020

①省エネルギー推進

●事業所および生産拠点における省エネルギー

●省エネルギーに配慮した商品開発(LCA の活用)
・待機時：使用時の電力削減
・小型化：軽量化
（輸送エネルギーの削減）

●省エネルギーに貢献する要素技術開発

地球温暖化による
動植物の生態系などへの
影響を低減

②3R 活動

●資源循環に配慮した商品開発
・エコ素材およびリサイクル素材の採用
・3R 設計手法の全社展開
（分解性向上、省資源など）

●廃棄物削減と再資源化
・国内生産、事業拠点の廃棄物ゼロエミッションを維持
・海外生産拠点における廃棄物ゼロエミッション

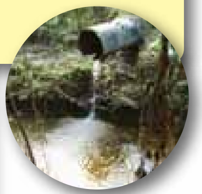
鉱物資源の採掘による
生態系などへの
影響を低減

③化学物質の適正管理

●グリーン調達の推進
・お取引先のグリーン度レベルの改善

●製品の有害物質削減
・安全物質への代替推進

●事業所の有害物質の適正管理と代替推進



大気汚染や
土壌汚染による
生態系などへの
影響を低減

④生物多様性の保全

すべての事業活動、製品開発およびサービスが生物多様性に影響するという認識に立ち、総合的な環境負荷の低減に努め、自然環境との調和を目指す。

JVC ケンウッドの環境経営

全社横断で環境経営を推進します

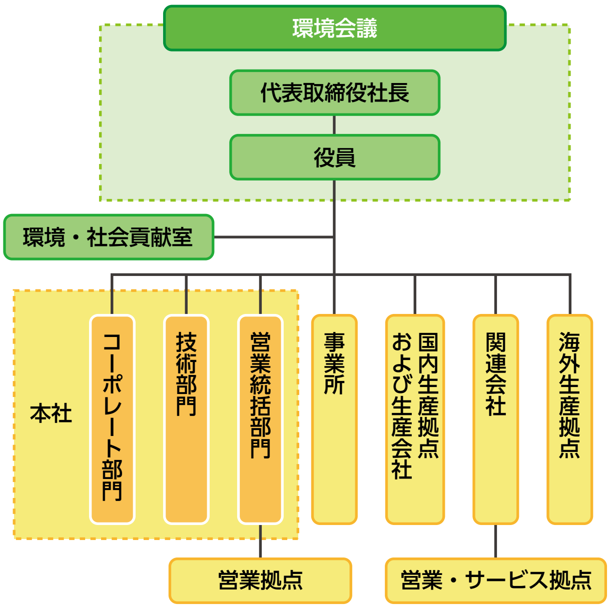
JVC ケンウッドグループは、環境に負荷をかけない商品の開発、環境に負荷をかけない事業活動、生産活動の推進を確実に成果に結びつけるために全社横断で環境経営を推進しています。

◀ 2011 年 7 月欧州販売会社に対する REACH 説明会

環境推進体制

環境会議

JVC ケンウッドグループの環境経営活動は、経営層による最上位の意思決定機関である「環境会議」で決定された方針・施策を全社的に展開し、環境経営を推進しています。



環境推進体制

環境マネジメントシステム

JVC ケンウッドグループは、ISO14001 の規格にもとづいて環境マネジメントシステムを構築し認証を取得し維持しています。

2012 年度からは JVC とケンウッドの環境マネジメントシステムを統合した運用を開始し、統一の環境方針をもとに国内の全事業所、非生産拠点、関係会社を含めた認証取得を進めています。

国 内	統合取得	拠点数
	事業所拠点	5
	生産会社	2
	非製造拠点	40
	関連会社	16
海 外	単独取得	拠点数
	生産会社	10

環境グリーン・シンボル コンセプト

環境グリーン・シンボルマークは、JVC ケンウッドグループの環境配慮に取り組む姿勢、または取り組み内容を示すために使用するシンボルマークです。JVC ケンウッドグループにおける環境活動のシンボルとしてカタログや環境ポスターなどに表示し、社内での啓発や社外へのアピールをするために使用しています。

eco
JVC KENWOOD

環境グリーン・シンボルマーク

エコプロダクツの創出

環境・社会貢献室では、当社の独自性を活かせる環境面でのアイディアを新製品の開発に反映させ、商品とサービスを通じて社会に貢献できることを目標にエコプロダクツの創出活動に取り組んでいます。2050 年のライフスタイルを視野に入れて、2020 年までのエコ推進計画のロードマップにもとづき、各事業グループで商品化できるように「世界中の人々が、地球を自然に意識し、つながりを感じて毎日を楽しく生活している世界」をエコプロダクツ創出のテーマにしています。

エコプロダクツのアイディア会議

環境教育

JVC ケンウッドグループは、環境に配慮した商品の開発・生産・販売を担う企業として、環境に関する一般教育研修、階層別教育研修、特定業務従事者研修を実施して従業員全員が担当業務の中で環境に与える影響を認識し、日常業務の中で積極的に取り組んでいます。さらには、環境活動の維持・向上に向けて定期的に内部監査員養成研修、法令順守の研修等を実施して社会的責任を果たせるように努めています。

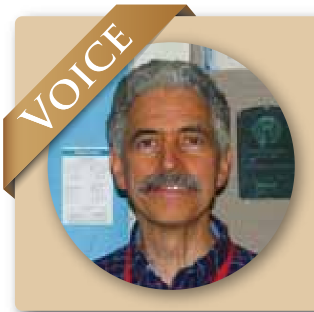
廃棄物管理研修

世界各国の環境コンプライアンスに対応

世界各国で環境への意識が高まる中、当社では、企業団体への参画や海外の販売会社との連携を取りながら、常に最新の市場からの要求や法規制情報を入手しています。世界各国から入手した情報をわかりやすく資料化し、企画段階から設計にいたるまでの業務に携わる従業員に、製品アセスメント教育を実施し、環境法規制や市場から要求されている環境コンプライアンスに対応しています。

環境コンプライアンスの勉強会

世界各国の市場動向や環境法規制を収集し、各事業部に展開しています



私は、米国各州および連邦法の環境関連規制や市場からの要求に対する適合性に関する業務を担当しています。これまで、20 州の異なるリサイクル規制に対応するため各州への登録や報告を行いました。
複雑化する省エネや化学物質およびリサイクル規制への対応、EPEAT 等の市場要求に適切に対応するため、日本と情報交換を行いながら具体的な取り組みを展開しています。

JVC Americas Corp.
Product Safety and Environmental Liaison　Ted Marks

環境会計

環境保全コストの分析

JVC ケンウッドグループは環境省のガイドラインに沿った環境会計を導入し積極的に情報公開をすることによって、透明性のある精度の高い環境経営を目指しています。

2011 年度の環境保全コストは、設備投資で 9.8 百万円、経費で 674.9 百万円となっています。環境保全コストの経費で前年に比べ大きな変化があった項目は「管理活動コスト」で 188.9 百万円増、「上・下流コスト」で 86.1 百万円減となっています。「管理活動コスト」の変化は、REACH 規則等に対応するために化学物質管理運用費用が多くなったことが大きな要因です。また「上・下流コスト」の変化は、グリーン購入管理運用費用が多くなった一方で、国内で製品リサイクルコストが大幅に少なくなったことが要因となっています。他の項目では特に大きな要因変化はありませんでした。環境効果では、過去の設備投資などにより省エネ効果や廃棄物の有価売却益を確保していますが、その効果そのものも小さくなり、また環境会計の規模も小さくなる傾向が続いています。環境保全コストの適正な運用により、環境負荷低減活動を推進し、環境効果の確保を図っていきます。

JVC ケンウッドグループ　環境保全コスト：環境保全活動のための設備投資と経費（百万円）

項　目		内　容	設備投資	経　費	合　計
事業エリア内コスト	公害防止	大気、水質など公害防止のために必要な費用および投資	6.55	70.04	76.59
	地球環境保全	地球温暖化防止、オゾン層保護にかかる費用	1.06	8.04	9.10
	資源循環	廃棄物削減、リサイクル、再資源化費用など	1.98	53.23	55.21
小　計			9.59	131.31	140.90
上・下流コスト		エコ商品やグリーン購入のコスト、廃家電対策、包装容器リサイクル等	0.00	12.43	12.43
管理活動コスト		環境にかかわる管理コスト、ISO 取得・維持、研修、スタッフコスト	0.26	530.52	530.78
研究開発コスト		エコ商品開発、省電力、有害化学物資代替技術開発コスト	0.00	0.00	0.00
社会活動コスト		アメニティ対策、寄付、支援金や情報公開、環境広告、環境展示コスト	–	0.00	0.00
環境損傷等コスト		土壌汚染等の修復費、補償金、罰金等その他コスト	0.00	0.60	0.60
合　計			9.85	674.86	684.71

環境効果　環境保全活動による電気使用量および廃棄物処理費用の削減等　効果金額（百万円）

分　類		2011 年度	過去分の累計
削減効果	事業場省エネルギー	10.20	75.08
	廃棄物処理費用の削減	0.63	0.51
	上下水費用の削減	2.95	5.70
	包装材および物流費用の削減	5.53	5.53
収　益	工場廃棄物のリサイクルにかかる有価物売却益	107.03	
	使用済み製品のリサイクルにかかる有価物売却益	0.10	
合　計		126.44	193.96

■ 環境会計の対象範囲

期間	2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日
集計範囲	**JVC ケンウッドグループ　国内 R&D センター、事業所・工場** 八王子事業所、白山事業所、本社・横浜事業所、横須賀事業所、久里浜技術センター、ビクタークリエイティブメディア（株）、ビクターインテリア（株）、（株）山形ケンウッド、（株）長野ケンウッド
	海外生産会社 JVC アメリカ工場、JVC シンガポール工場、JVC マレーシア工場、JVC タイ工場、JVC オプティカルコンポーネント（タイ）工場、JVC インドネシア工場、ケンウッド中国工場、ケンウッドシンガポール工場、ケンウッドマレーシア工場、ケンウッドフランス工場

参照ガイドライン：環境省「環境会計ガイドライン 2005 年版」

環境目標と実績

2011 年度　環境目標と実績

JVC ケンウッドグループはモノづくりの中でライフサイクル的視点のもと、お客様のニーズに対応しながら環境負荷低減のため、毎年目標をかかげ取り組んでいます。
2011 年度の活動実績としては当初の目標を達成することができました。

活動項目	2011 年度目標	評価
省エネルギー推進		
製品の省エネルギー	モデルごとの製品アセスメントの目標を設定し、実行	○
事業活動での CO_2 排出量削減	2% 以上（前年度比）	○
3 R活動（Reduce/Reuse/Recycle）		
省資源・リサイクル性	モデルごとの製品アセスメントの目標を設定し、実行	○
LCA※ の導入	LCA 評価ツールを国内グループ全体に展開	○
廃棄物 ①総発生量の削減	22% 以上削減（2000 年度比）	○
②ゼロエミッション化	99.5% 以上	○
化学物質の適正管理		
グリーン調達	・REACH※対応 IT システム導入を達成 ・お取引先のグリーン調達評価実施	○
工場の化学物質 ①重点削減物質	12% 以上（2005 年度比）	○
②管理対象物質	6% 以上（2005 年度比）	○
環境リスク		
有害化学物質不使用	グリーン調達ガイドラインの遵守	○
環境リスク	保有する工場、事業所の 100% 安全確認　全事業所の調査完了	○

評価の基準：　○目標達成　△目標一部未達成　× 目標未達成
2011 年度は 2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日の期間を表します。

※LCA (Life Cycle Assessment) ライフサイクルアセスメント；
その製品に関する資源の採取から製造、使用、廃棄、輸送など全ての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法

※REACH 規則（Registration Evaluation Authorization and Restriction of Chemicals）；
EC 規則 No.1907/2007 で定められた欧州における化学物質管理のための法律

エコ推進計画①省エネルギーの推進

省エネルギー活動で CO_2 削減を推進します

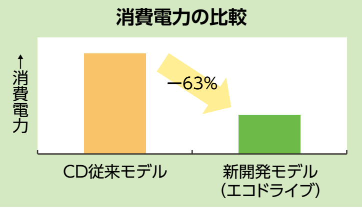
JVCケンウッドグループは、商品の消費電力、待機電力を減らす技術や小型軽量化する技術を追求し、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

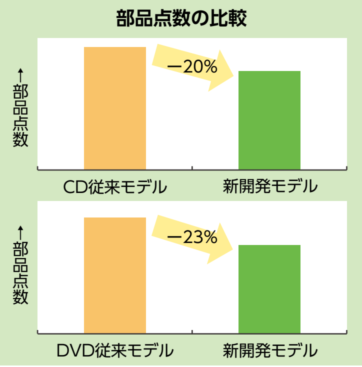
◀ モーター駆動波形を確認している車載用CD,DVDメカの設計者

省エネルギーに配慮した商品の開発

車載用光学ディスクドライブメカ

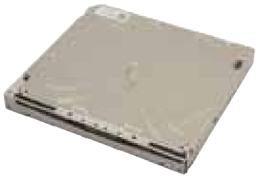
JVCケンウッドの車載用CDおよびDVDメカは自動車用電子機器メーカー様を経由して、数多くの自動車メーカー様に納入されています。その品質・コスト競争力が高く認められ、2011年6月、デルファイ様から「Delphi 2010 Above and Beyond Award」を受賞、続いて同年7月にドイツのロバート・ボッシュGmbH様より、電子部品および電気機械部品部門で、「Bosch Supplier Award」を受賞しました。





新たに開発した車載用CDメカは、電気系統をエコドライブ回路に変更し、従来モデルよりも63%消費電力を削減しました。CDメカでありながら、デジタルオーディオプレーヤー（DAP）と同等以下の消費電流です。

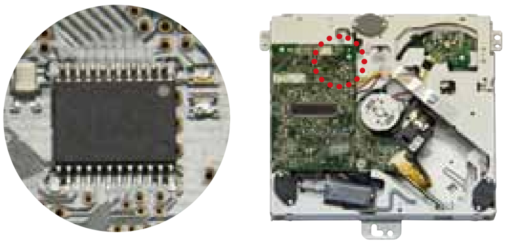
新開発のCDメカ



新開発のDVDメカ

また、機構部分に関しては、部品点数を約20%削減し軽量化を実施しました。

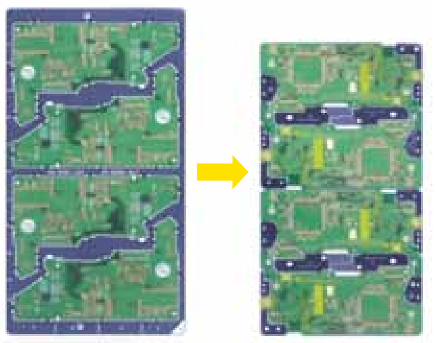
車載用DVDメカも、現行モデルから部品点数を約23%削減したメカを新規に開発しました。



エコドライブ回路

メカ内部のプリント基板は、システムLSIの採用により従来の多層（6層）基板を両面基板にまで圧縮しました。

また、メカを生産しているケンウッド中国工場の生産技術の協力により、プリント基板の有効面積を増やすために、製造工程で不要となる外周部の捨て基板※の面積を大幅に削減することができました。



捨て基板の面積を削減

※捨て基板：部品を搭載する機械（インサートマシン）がプリント基板を固定するための「つかみしろ」のこと。部品搭載後廃棄される。

軽自動車向けカーナビゲーションシステム

NMZK-W62/-BR　NMZK-D62

　操作性の良さと信頼性の高さで自動車メーカー様へ納入するカーナビゲーションは拡大の一途をたどっています。

　ルート探索で推定燃料消費量を計算し、エコドライブをサポートする機能や､エコドライブの成績によって、自車マークに隠れキャラが設定できる機能で、楽しくエコドライブをして頂けます。

FM や光ビーコンが使用できない地域でも、専用アプリがインストールされた iPhone を接続することにより、交通情報を取得できるため、広範囲にエコドライブプランを立てるのに役立ちます。

ソーラーパネルを使った画像伝送システム

NEXEDGE

　ソーラーパネルの搭載により電源や通信インフラがない危険な場所で使用できる、業務用デジタル無線システム「NEXEDGE」による画像やデータ等の伝送が可能な画像伝送システムを開発しました。

高感度カメラにより月夜のような夜間の撮影や、モーションセンサーによる撮影も可能です。インターネット接続された「NEXEDGE」の基地局を経由させれば、地球の裏側でもリアルタイムに監視が可能です。

アマチュア無線機

TM-281（海外モデル）

　ケンウッドブランドの業務用無線機器は世界第 2 位のマーケットシェアを有しています。

本機は、業務用無線機の分野で蓄積したノウハウをつぎ込んだ本格的な業務用機に匹敵する堅牢性と高い通信性能を実現しているだけでなく、受信待機時の消費電力を 25%削減しました。

通常、無線機は機器から外部に不要な電波を出さないようにアルミ製の鋳物で回路をシールドしますが、プリント基板自体にシールド性を持たせることで大幅な軽量化も実現しています。

シールド性を持たせたプリント基板

業務用 21 型液晶マルチフォーマットモニター

DT-E21L4

　放送局・編集プロダクション向けの液晶モニターです。

スタジオ内での使用やフィールドへの持ち出すこともできる DC 電源対応の軽量モデルです。

LED バックライト液晶パネルの採用や、映像信号処理回路の 1 チップ IC 化および、ユーザーインターフェイスの最適化設計で、20 型従来機比で使用時消費電力を 47%、スタンバイ時消費電力を 82% 削減し、大幅な省エネ化を実現しました。

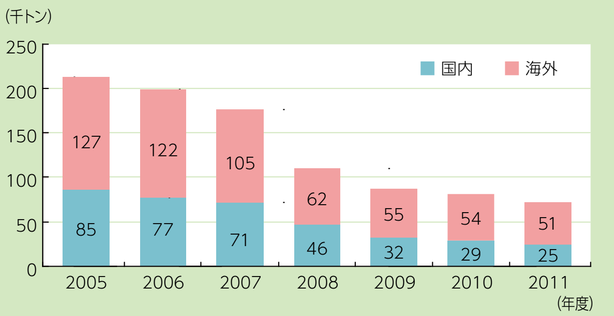
映像信号処理回路の 1 チップ IC

事業所の省エネルギー活動

省エネルギー活動

JVC ケンウッドグループは、2011 年度の目標にもとづき温室効果ガス、特にエネルギー消費による CO_2 排出量の削減を継続しています。
空調機器の細かな管理、昼休みの消灯、照明器具のインバーター化等、具体的な活動以外にも、業務の効率アップや工場の生産性の向上が確実に省エネルギーに結びつき、昨年実績を下回ることができました。

■ エネルギー消費によるCO_2排出量
JVCケンウッドグループ（国内・海外）



夏場の節電対策

JVC ケンウッドグループは 2011 年夏の節電に対し、前年のピーク電力使用量の 15% 削減に取り組むために 3 つの施策を展開しました。

① 工場・事業所の輪番休暇
② 有給休暇の取得の促進
③ 工場・事業所の電力使用量を可視化し空調、照明をコントロール

電力使用量の可視化は、イントラネットを通じてリアルタイムに情報展開しました。

イントラネットで情報展開した電力使用量

その結果、前年同月のピーク電力使用量に対し 7 月は 27% 減、8 月は 28% 減、9 月は 27% 減と大幅に目標をクリアーすることができました。

家庭での省エネルギー活動

JVC ケンウッドグループは、従業員の各家庭にも環境保全への取り組みの協力を促しています。山形ケンウッドでは前年同月比で電気の使用量の 15% 削減に挑戦する「家庭の節電宣言」への呼びかけに対し、ほぼ全従業員の家庭が参加しました。
また、7 月 7 日の夜 20 時～22 時まで、各家庭で照明の一斉消灯を実施する「七夕ライトダウン」への参加を広く呼びかけました。
今後も会社での取り組みとあわせて家庭での省エネルギー活動についても継続して取り組んでいきたいと思います。

電気使用量を削減し受賞した
山形ケンウッドの従業員

七夕ライトダウンに参加した
従業員の家族

VOICE

我が家では、こどもが生まれ光熱費が上がったことがきっかけで、家庭内での省エネルギー活動に目覚めました。
家族ができるだけ同じ部屋で一緒に過ごすという生活習慣を心がけることで、電気の使用量を抑えながら一家団らんの時間も増えるという一石二鳥の省エネ生活を楽しんでいます。

生産・調達部 横須賀工場 製造部　**竹下 真仁**

エコ推進計画② 3R 活動

3R 活動で循環型社会に貢献します

JVC ケンウッドグループは資源環境に配慮した商品開発、廃棄物削減と再資源化の 3R 活動を推進し循環型社会に貢献しています。

◀ レンズまわりの 3R 設計に取り組む光学系の設計者

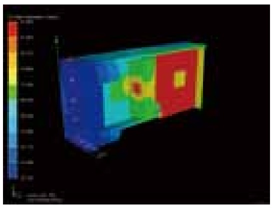
3R 設計の推進

ビデオカメラ　GZ-V570

JVC ブランドのビデオカメラは、Everio シリーズとして世界中のお客様にご愛用いただいており、全世界では、昨年を上回る 164 万台を販売しました。

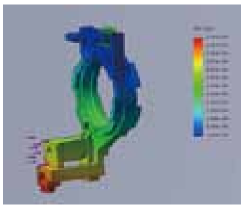
基礎設計の段階から様々な解析技術を駆使し、シミュレーションを実施し、小型化、軽量化による部品点数の削減、リサイクルを考慮した分解のしやすさを追求した 3R 設計を行っています。

電気回路の省エネルギー化により薄型バッテリーが採用できたこともあり、性能を確保しながら本体で約 41% の小型化、約 32% の軽量化を実現しています。



熱解析で温度分布と空気の流れを可視化

本体の小型化（薄型化）
幅54mm→38mm



強度解析で耐久性を損なわずにレンズユニットを小型化

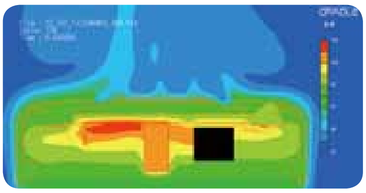
レンズユニットの小型化
幅28mm→20mm

私は、世界各国の設計に関する法規制情報を把握した上で、製品アセスメントを通じて 3R 設計の推進に取り組んでいます。
設計段階で商品の部品点数の削減、分解のしやすさなどを可視化することや、法規制に絡んだ梱包材の設計などに 3D-CAD を使った解析ツールは威力を発揮しています。
使いこなせるようになれば、設計時間や労働時間のリデュースにも効果が出てくると思います。
これからも各事業部門と密に連携していこうと思います。

人事・勤労・総務部 環境・社会貢献室　**荒若 浩行**

車載用オーディオアンプ　X500-1

カーオーディオ大国アメリカで、ケンウッドブランドのカーオーディオはトップシェアを誇っています。



熱解析技術による最適な部品レイアウトで放熱器を小型化

モノラルパワーアンプのエントリーモデル X500-1 は、熱解析技術による放熱設計の最適化と、電源回路の高効率化により、モデルチェンジ前と比較して音質や性能を維持しながら体積比で約 40% 削減を達成しました。

小型化は、包装材料削減や物流効率を高めることで環境負荷低減に寄与しています。

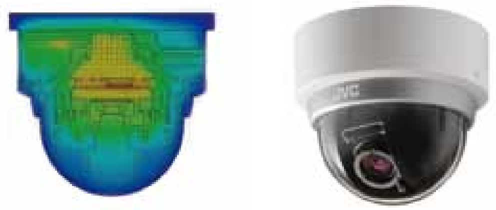
X500-1（上）と前代モデル（下）

ドーム型防犯監視カメラ　TK-C2201

公共施設、商業施設、学校などを 24 時間監視し安心を提供する防犯監視カメラには小型化と低消費電力が求められます。

熱解析技術で温度分布と空気の流れを可視化し、従来機種比で 61% の小型化と 50% の省電力化を実現しました。

落下試験の衝撃 G 値への耐久性確保のため包装材の形状を見直し 42% の減容化を実現するとともに、パルプモールド材を採用しました。



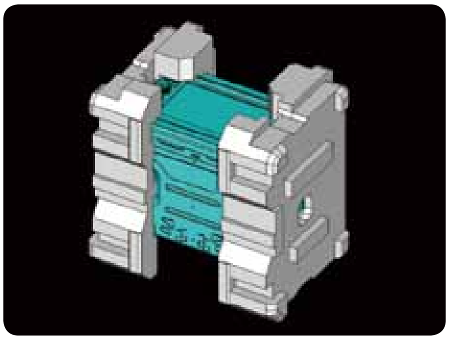
熱解析技術で温度分布と空気の流れを可視化することで本体を小型化

カーナビゲーション　MDV-434

包装材は大切な商品を振動、落下、輸送時の積み上げなどから保護しています。

最適な包装材の形状を導きだすために、3D-CAD の解析技術でシミュレーションが繰り返されます。

MDV-434（国内モデル）では従来機比で包装体積を 8%、包装材の質量を 14% 削減しました。



解析技術でシミュレーションされた梱包材の最適形状で包装体積を削減

ホームシアターサウンドシステム　TH-LB3

テレビと接続して迫力あるシアターサウンドが楽しめるバースピーカーです。

コンパクトかつ高音質で定評を得ている従来機から更に環境配慮設計をすすめることで、高音質を維持し小型化を実現しました。

2010 年度開発モデルと比較して、容積比で 30%、質量比で 10% の削減を達成しました。

国内のリサイクル対応

容器包装リサイクルの取り組み

JVC ケンウッドグループは、日本国内で対象となる法律にもとづきリサイクルを確実に実施しています。

2000 年 4 月に容器包装リサイクル法が施行され、特定事業者として国内で使用した紙製およびプラスチック製容器包装排出見込み量を算出し、財団法人日本容器包装リサイクル協会と毎年『再商品化委託契約』をしています。極力排出量を削減するため 3R 設計により包装材の縮小化と減量化に取り組んでいます。

小形二次電池リサイクルの取り組み

2001 年に施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律」にもとづき、電池工業会が設立した、一般社団法人 JBRC の会員となり、指定再資源化製品として法律でリサイクルが義務付けられている小形二次電池ついて、回収を委託しリサイクルを実施しています。法定再資源化率はニカド 60%、ニッケル水素 55%、リチウムイオン 30%、小型シール鉛 50% ですが、委託している JBRC でのリサイクル実績はこれらを全てクリアしています。

INA コピー用紙循環システムの構築

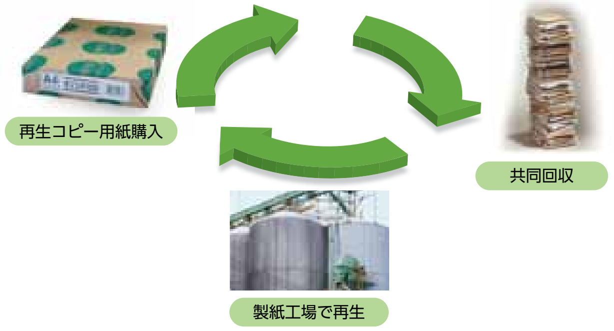
長野ケンウッドは地域企業で構成している「リサイクルシステム研究会」の会員として、1998 年から「INA コピー用紙循環システム」の構築に取り組んでいます。「INA コピー用紙循環システム」は一般的な再生紙のリサイクルとは異なり、リサイクルシステム研究会の会員企業と官公庁が協力し、地域で発生した古紙を再生し、またその地域に戻すという究極のリサイクルシステムです。

当社は、周辺地区の廃棄上質紙の回収指定場所を引き受けています。

この「INA コピー用紙循環システム」の 2010 年度古紙回収実績は 28 トンで、立木 560 本分※にもなり自然環境維持に大きく貢献しています。

※古紙を 1 トンリサイクルすると直径 14cm、高さ 8m の立木 20 本からパルプを作るのに相当する。環境省資料より

■ INA コピー用紙循環システム



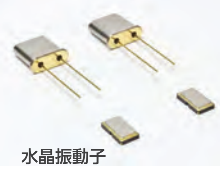
DVD、CD の廃材を有効利用

ビクタークリエイティブメディアは、僅かな材料も無駄にしないよう、成形・印刷工程において不合格となった DVD、CD を全て専用の設備で粉砕し、外部業者に引き渡しプラスチック製品の材料に再生されています。

品質検査で不合格となったディスクは、粉砕後、スマートフォンのケースなどに再生されます。

水晶発振子の製造工程で発生するスラッジの有効利用

ケンウッド・デバイスでは、主に水晶振動子・水晶応用製品の開発・製造を行っていますが、製造工程のエッチング作業で発生するスラッジ（汚泥）を外部業者に引き渡し再生砕石やインターロッキングブロック等の製品となって再利用されています。


水晶振動子

水晶をエッチングする工程で発生するスラッジはインターロッキングブロック等に再生されます。

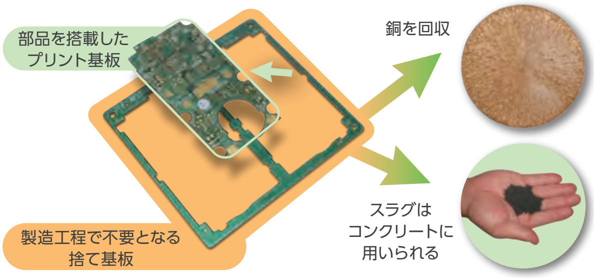
家具の廃材を有効利用

ビクターインテリアでは、僅かな材料も無駄にしないように、廃材の有効利用に取り組んでいます。家具の製造工程で発生した廃材はチップ化してボイラーの燃料とし、発生する熱エネルギーを回収して塗装工程での乾燥、冬期の暖房に利用するサーマルリサイクルを行っています。材料はダイオキシンを発生させない地球にやさしい循環型エコロジー材を使用しています。

家具の製造工程で発生した廃材は熱エネルギーとしてサーマルリサイクルしています。

プリント基板の廃材を有効利用

山形ケンウッドでは商品の製造工程で廃棄される捨て基板を契約しているリサイクル業者を経由して、銅やコンクリートに混合するスラグへリサイクルしています。

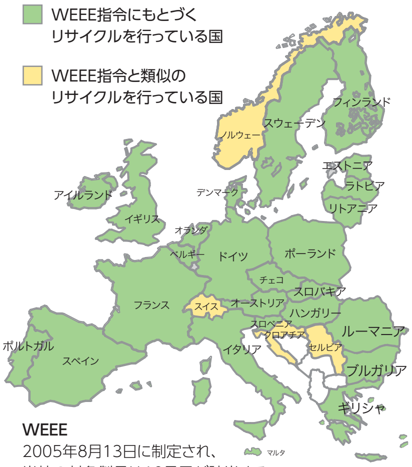


海外のリサイクル対応

欧州・米国のリサイクル

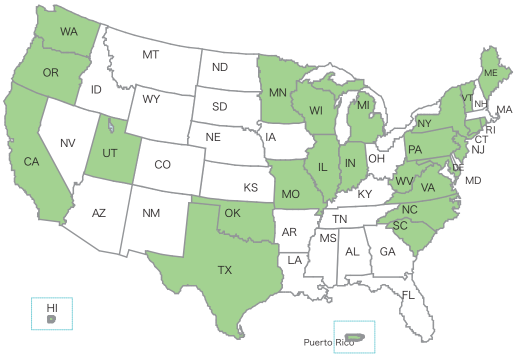
JVCケンウッドグループは、欧州の廃電気電子機器指令(WEEE)、米国の全州に拡大しつつある各州廃家電法を遵守したリサイクルに取り組んでいます。対象製品等は3Rを考慮し、商品を構成する部品点数の削減やリサイクルしやすい設計を行うとともに、環境リスクとリサイクル負担の影響も考慮した、全体最適化による3R設計を推進しています。

欧州のWEEEリサイクル対応



WEEE
2005年8月13日に制定され、
当社の対象製品は10品目が該当する。

米国各州でのリサイクル対応



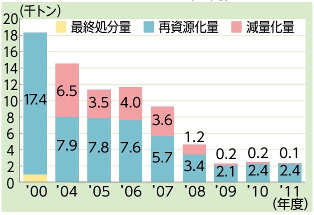
既にリサイクルを実施している州、
または今後予定されている州

廃棄物削減活動（リデュース）

ゼロエミッションを継続して廃棄物削減を推進(国内)

JVC ケンウッドグループの国内における廃棄物発生量は国内拠点の統廃合の影響がありましたが、2009 年度以降 2000 年度比に対し 15% 以下で推移しています。廃棄物削減活動とごみの分別による再資源化を継続した結果、前年比で発生量は減少しています。また再資源化率は 99% を維持しゼロエミッションを継続しています。

■ 廃棄物発生の年間推移
JVCケンウッドグループ（国内）



■ 2011年度廃棄物の内容と構成比
JVCケンウッドグループ（国内）

	発生量(トン)	構成比(%)
汚泥(無機・有機・混合)	222	8.7
紙くず・木くず	1,301	50.8
廃プラスチック	577	22.6
廃液(廃油・廃酸・廃アルカリ)	37	1.4
金属くず(鉄・非鉄)	327	12.8
その他(動植物残渣 他)	95	3.7
合　計	2,559	100.0

ごみの分別と再資源化の成果

横浜市に本社・横浜事業所と白山事業所の 2 つの事業所が立地する JVC ケンウッドは、それぞれの事業所で 3R 活動への取り組みに優れた事業所として、横浜市より「3R 活動優良事業所」の認定を受けました。

授賞式

今回の認定で 5 年連続となります。これからも全社をあげて 3R 活動への積極的な取り組みを継続します。

本社・横浜事業所（左）、白山事業所（右）

再利用活動（リユース）

測定器の社内フリーマーケット

イントラネットに「リユース情報」を掲載し遊休設備や余剰品の有効活用を行っています。2011 年度は、生産を海外に移管した工場から発生した測定器を中心に約 400 件が「リユース情報」として掲載され、社内フリーマーケットとして活用されています。

直流安定化電源を入手した設計者

来日したタイ工場従業員に冬服の提供

大洪水で浸水被害を受けた JVC タイ工場の代替生産のため、2011 年 12 月 5 日から横須賀事業所で製造作業に従事したタイ工場の従業員に対し、社内で防寒具の無償提供を募りました。この依頼に多くの従業員が賛同し、たくさんの冬物衣料が提供されました。

たくさんの冬物衣料が提供されました

VOICE

我が家のおきては在庫を持たないことです。古着はタンスにしまえば不良在庫、ハサミで刻めば資源となります。
私の古着はこどもの食べこぼしや鼻水をふくのに使い、ティッシュペーパーはできるだけ使いません。だからごみは少なくなるし、肌にも優しい。
夫のワイシャツを再利用したスタイ(写真)は娘のお気に入りです。
我が家は毎月が 3R 推進月間です！

日本ビクター労働組合　**土屋 優子**

エコ推進計画③化学物質の適正管理

グローバルな化学物質管理で環境負荷低減を推進します

JVC ケンウッドグループは商品を製造・販売する世界各国の環境法規制に対応するために、化学物質の総合管理体制を構築し環境負荷低減を推進しています。

◀ 商品に含有する化学物質を確認している設計者

商品に含有する化学物質の総合管理体制

IT システムを活用した管理体制

欧州の REACH 規則をはじめ、各国の化学物質規制にもれなく対応するためには、製品に使用される部品・材料の化学物質情報を適切に把握する必要があります。

JVC ケンウッドグループでは新たな IT システムによる、化学物質を総合的に管理する環境データベースを柱とした体制を構築しています。

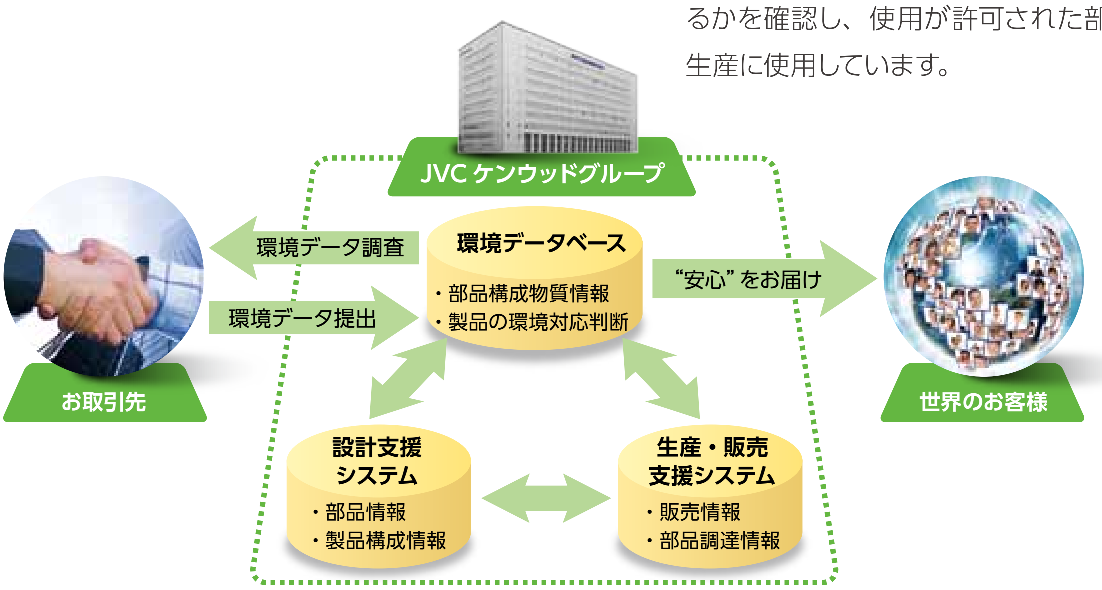
お取引先との協力体制

化学物質の総合的な管理は、商品を構成する部品や材料の購入先であるお取引先の協力を得て、納入される部品や材料の含有化学物質情報を提出していただいています。

さらに、生産体制や品質管理状況など、お取引先の環境管理体制を確認させていただいています。

含有化学物質情報の確認

お取引先から提出された含有化学物質情報は、本社の審査部門で世界各国の環境法規制に準拠しているかを確認し、使用が許可された部品や材料のみを生産に使用しています。



化学物質の総合管理体制

このように、将来に渡りお客様へ安心してご使用いただく商品を提供するため、たゆまない活動を展開しています。

安心してご使用いただく商品を提供するためのたゆまない活動

世界各国の環境法規制の把握と展開

世界各国では環境に関する意識が高まり、環境法規制の検討や審議が日々進められています。

JVC ケンウッドは情報サイトや企業団体への参画および海外工場・販売会社などから、世界各国の最新の法規制動向を入手しています。制定・改定された法規制情報は、各事業部へ展開するとともに、JVC ケンウッドのグリーン調達ガイドラインを改定しお取引先へ展開しています。

企業団体活動で製品含有化学物質の管理に関する講演を実施

環境法規制の情報を事業部へ展開

グリーン調達ガイドラインはホームページでご覧ください
http://www.jvckenwood.co.jp/csr/green/index.html

含有化学物質情報の提出

お取引先には、JVC ケンウッドのグリーン調達ガイドラインの内容にもとづいて、部品や材料の含有化学物質情報を提出いただいています。

含有化学物質情報の提出例

私はさまざまなジャンルの商品を世界の安全規格、EMC, 電波法規制に適合させる仕事をしています。
情報の入手が困難だったり、各国の言語を翻訳して解読することはとても手間のかかる仕事ですが、情報収集を通じて多くの国や、企業の方と触れ合うことができるところがこの仕事の魅力です。
環境法規制とはジャンルが違いますが、みなさんの努力もよくわかります。情報交換しながらともにがんばりましょう。

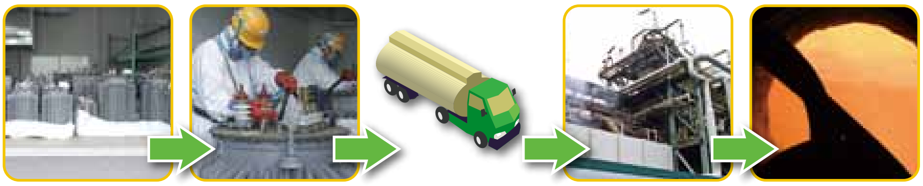
技術戦略部 企画室　河内 ゆきこ

事業所・工場の環境負荷物質の削減と環境リスクの低減

ポリ塩化ビフェニルの無害化処理

ポリ塩化ビフェニル（以下、PCBという）は過去に絶縁用途で重電機器類を中心に使用されていました。しかしながらPCBは人体に悪影響があり2016年までに無害化処理することが法律（PCB特別措置法）で義務付けされています。JVCケンウッドグループでは本社・横浜事業所に保管されていたPCB含有重電機器類の微量PCB絶縁油を2011年10月に抜油作業を行い、微量PCB絶縁油処理施設にて無害化処理を実施しました。これにより法律を遵守するとともに、本社・横浜事業所のPCB漏洩に対する環境リスクを回避することができました。

今後も継続的に全社レベルでのPCB含有電気機器の無害化処理に取り組み、環境負荷物質の削減に努めていきます。



微量PCB汚染物保管倉庫 本社・横浜事業所 → 微量PCB絶縁油の抜油作業 → 微量PCB絶縁油処理施設 → 1100℃以上で焼却処理

緊急事態対応

現在JVCケンウッドグループではPCB含有重電機器類やPCB汚染物について、本社・横浜事業所を含め6拠点で適正保管並びに無害化処理を実施しています。また、保管に当たっては機器からオイルが漏れ出したという事故を想定し手順書に従い汚染拡大防止の防災訓練を定期的に実施し環境リスクの低減に努めています。同様に、様々な環境に影響をおよぼす事故および緊急事態の発生に対しても手順を定め、事故および緊急事態による環境影響の予防、緩和および再発防止をはかることに努めています。

汚染拡大防止訓練

■ 環境に影響をおよぼす想定事故と事故予防関連規定・手順書

環境負荷物質	環境に影響をおよぼす想定事故	事故予防関連規定・手順書
灯油	タンクローリーから地下タンクへ給油時の漏洩事故	「環境施設運転管理業務（地下タンク貯蔵所）」
水処理剤類 ・ポリ塩化アルミニウム ・塩酸・苛性ソーダ	タンクローリーから貯蔵タンクへ投入時の漏洩事故	「薬品移送作業の緊急手順」
特別管理産業廃棄物 ・廃酸 ・廃油（有機溶剤等）	タンクローリーから地下タンクへ給油時の漏洩事故	「薬品移送作業の緊急手順」
有機溶剤類（アセトン）	危険物の漏洩事故	「緊急事態対応規定」 「危険物屋内貯蔵所緊急事態対応手順」
潤滑油類（作動油） 接着剤	危険物の漏洩事故	「緊急事態対応規定」 「危険物屋内貯蔵所緊急事態対応手順」

PRTR対象化学物質の管理

2011年度、JVCケンウッドグループのPRTR対象化学物質で1トン以上取り扱った物質はニッケルのみでした。今後も定期的に保管量・使用量を管理して減量の推進とともにリサイクルにより排出・移動量の減少を続けていきます。

PRTR：(Pollutant Release and Transfer Register）化学物質排出移動量届出制度

VOCの大気への排出抑制計画

JVCケンウッドグループは業界のVOC大気排出抑制の自主行動計画に参加し、排出量は総量で極めて少なくなっていますが、今後も削減に向けた取り組みを進めます。

VOC：(Volatile Organic Compounds）揮発性有機化合物

地球環境との対話

JVC ケンウッドグループは「省エネルギー推進・3R 活動・化学物質の適正管理」を活動項目として、総合的な環境負荷の低減を行った結果、美しい地球環境の健全性を確認しています。

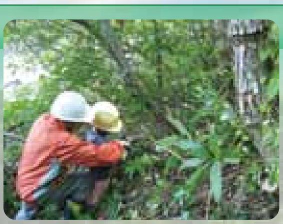
◀ 山形県鶴岡市の青龍寺川で生息を確認したイバラトミヨ

中国ホルチン砂漠で植林（日本ビクター労組）

1994年から中国の砂漠緑化運動に取り組み、毎年現地NGOスタッフとともにホルチン砂漠他で植林活動を行っています。

里山整備活動（山形ケンウッド）

山形県金峰少年自然の家周辺の里山整備活動にスタッフとして参加しています。



「法人会の森」の下草刈り（ビクタークリエイティブメディア）

神奈川県大和法人会の会員としてヤビツ峠「法人会の森」の下草刈りに参加しています。

ビオトープ「トンボ池」（本社・横浜事業所）

横浜市が提唱する「京浜の森づくり」事業に賛同し、2003年から構内の「トンボ池」をビオトープとして運用しています。

赤川河口クリーンアップ（山形ケンウッド）

毎年「赤川河口クリーンアップ活動」を実施しています。漂着ごみの分析データーはクリーンアップ事務局のJEANに報告しています。

水質調査と水生生物調査（山形ケンウッド）

夏休みを利用して地域を流れる赤川、内川、青龍寺川で親子による水質調査と水生生物調査を実施しています。青龍寺川水系では希少淡水魚のイバラトミヨの生息も確認しています。

親子で水質調査（長野ケンウッド）

夏休みを利用して天竜川に注ぎ込む河川の水質調査を実施しています。発表会では汚れている場所の報告もしています。

天竜川水系環境ピクニック（長野ケンウッド）

毎年天竜川の流域3箇所で従業員とその家族（特に小学生）が、環境美化およびその教育の一環として天竜川水系環境ピクニックに取り組んでいます。

株式会社JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3丁目-12番地

●お問い合わせ先

人事・勤労・総務部　環境・社会貢献室

Tel: 045-450-2827　Fax: 045-453-1406